



丸一金属工業株式会社

気まぐれ通信 3年目

ver.1.00

(余談続編)

著作 吉村 郁祐

丸一金属工業株式会社会議資料より「気まぐれ通信」タイトル一覧 平成23年9月～平成24年8月の12ヶ月分

其の62 平成23年9月13日 ● 緊張感の無い時代へようこそ ～ 危惧していた事が着実に増加、、、

其の63 平成22年9月20日 ● 金融緩和と支援制度! ?

おまけ 平成22年9月20日 ● 欧州の金融危機

其の64 平成23年9月27日 ● 「椎茸先生」

其の65 平成23年10月18日 ● 「お箸」よもやま話

其の66 平成23年10月25日 ● 独裁は悪か?

其の67 平成23年11月8日 ● 「大半」よもやま話 ～ 「大半」とは?

其の68 平成23年11月22日 ● 増える飛び込み出産

その69 平成23年11月29日 ● ニンテンドーの凋落 ～ 生き残りを掛ける～

おまけ 平成23年11月29日 自転車業界は何をしてきたのか?

其の70 平成23年12月12日 ● 嗚呼! この国の借金

その71 平成23年12月20日 ● 混乱の予感

おまけ 平成23年12月20日 ● 「かるた」ちょい話

その72 平成23年12月27日 ● 「絆」

その73 平成24年1月17日 ● 創造の干支「龍(辰)」 ～ 荒削りの私見～

アメリカ在住の知人の文面 平成24年1月17日 ● 三度目の正直がなかったのに、なぜ彼らは葬られないのだろうか?

知っ得言葉 これ以降「よく聞くけど良くわからな～い」って言う言葉などを採り上げ、簡潔に伝え

てみます

知っ得言葉 1 ・ジャンコード (JAN CODE)

その74 平成24年1月24日 ● カニミソは何ミソ?

知っ得言葉 2 ・機能性ヨーグルト

その75 平成24年1月31日 ● ノーラン・ライアのピッチャーズバイブル II

知っ得言葉 3 ・TPP その76

其の76 平成24年2月7日 ● 突っ込むほうも、突っ込まれるほうも、、、

知っ得言葉 4・デジタル・デバイド (digital divide)

その77 平成24年2月14日 ●身近になった携帯端末と新たなデジタルデバイド

知っ得言葉 5・モラルハザード (moral hazard)

おまけ 平成24年3月6日 「もやし」よもやま話～ある番組を観て

知っ得言葉 6・ロハス (LOHAS) とローズ (RoHS)

知っ得言葉 7・環境ホルモン

その78 平成24年3月27日 ●プロ野球～球団は世に連れ～

※球団名は、ご当地地名は省いて書きました。

おまけ 平成24年4月3日 韓国人から見た中国人の4つの欠点とは？—米華字メディアより

知っ得言葉 8・デトックス

その79 平成24年4月10日 ●身売りのシナリオ二つ ～日本は中国に取り込まれるのか？

知っ得言葉 9・脱法ハーブ (通称 “合法ハーブ”)

おまけ 平成24年4月17日 万部おねり (まんぶ) ～平野郷 大念仏寺～

知っ得言葉 10・スーパーセル

其の80 平成24年5月29日 ●ニンニクよもやま話

知っ得言葉 11・受動喫煙 (間接喫煙)

其の81 平成24年6月6日 ●不本意な肺ガン

知っ得言葉 12・デマンド (DEMAND)

その82 平成24年6月14日 ●静香のちゃんの満足？ ～消費税増税論争に埋もれたやぶにらみの政情～

知っ得言葉 13・オーガニック

其の83 平成24年6月26日 ●とある仏具屋さんにて、、、

おまけ 平成24年6月26日 加工肉「ピンクスライム」の衝撃

その84 平成24年7月11日 ●タバコと生レバ

知っ得ことば 14・プロボノ

其の85 平成24年7月24日 ●私たちにも発電所が作れる！？

其の86 平成24年7月31日 ●「津波」よもやま話

知っ得ことば 15・LCC (Low Cost Carrier)

其の87 平成24年8月7日 ●「金 (gold)」よもやま話

其の88 平成24年8月21日 ●配慮と遠慮の違いが判っているのか？ そして落としどころは？

おまけ 平成24年8月21日 ●熱中症予防～どこを冷やすと予防に有効なのか？

知っ得ことば 16・リストラ (リストラクチャリング restructuring)

其の89 平成24年8月28日 ●シャープの選択 II ～選択と国の無策の狭間で～

おまけ 平成24年8月28日 ●同胞を食う中国人達 ～ある特集番組から～

気まぐれ通信 其の62

●緊張感の無い時代へようこそ ～ 危惧していた事が着実に増加、、、

過日、管制官が米国大統領専用機「エアフォース1」の航跡をネットで公開した“事件”があった。国家の最高機密に属す情報が、いとも簡単にばらまかれたのだ。以前にも書いたように失墜していた日本の情報管理の信頼性は更に低下。日本の総理が直接米国に謝罪しても後の祭りである。

また、買い物や食事、宿泊など有名人が利用した店や施設の従業員が彼らの情報を公開。彼らはクビ。そし

て雇い主が謝罪すると言ったナサケナイ状況が続いている。

彼らには自分の仕事の自覚が無く、何をしなければならぬか？何をすればダメなのか？と言う事がわからず。プロとして、人としての責任感と緊張感が欠如しているのだ。こんな事をすれば、どういった影響があるのか？と言う想像力や深読みする力すら身に付けていないのだ。

だから「自分はこんな事を知ってるんやで～」と言う“自慢”をしたいが為に軽々しい情報公開をするのだ。私にしてみれば小学生以下の想像力しか働いていないと言える。即ち大人の「幼稚化」だ。

片や政治家。国務大臣になってよほど嬉しいのか、失言、放言が目立つ。「俺は大臣になって偉いんや～」と勘違いのお喜び。大臣になったら国民を守る最前線に立たねばならず、喜ぶどころか双肩にかかる責任感で行動や言葉は慎重になるはず。にも関わらず“自慢”が優先され、責任感、緊張感が欠如したトンデモない放言・行動につながる。なぜそんな政治家達が当選し続けるのかは“ナゾ”と言わざるを得ない。

かつて日本の教育界に大きな力を誇った教師の団体がある。その先頭にいるのが「輿石東」と言う族議員だ。日本の将来を託す子供への教育が優先されねばならないのに、教師を守る観点から教師と教育を墮落させ、教育現場から道徳も奪い去ったのだ。「水は低きに流してあげよう」と言う教育思想で日本には「緊張感無し。無責任。想像力欠如。モラル無し。努力嫌い。自己中心のクセに他人依存。」と言った人々が増殖してしまった。多くの国民をノータリンにしてしまった輿石の罪は非常に重いのだ。なぜこんなヤカラ議員が国政の中枢に居座れるのか？これもナゾ。

老練政治屋も戦前の修身(=道徳)教育を受けているのに、同じように「幼稚化」してしまった。親の世代、子供～孫まで、ひいてはお爺さん、お婆さんまで影響を与える幼稚化教育の連鎖が日本を覆う。

今後の日本では、更なる幼稚化の実態がさらけ出されるだろう。携帯通信の進化がそれを後押しする。

震災、原発、超円高、国の膨大な借金、外交、少子高齢問題等々、未曾有の国難が降りかかっている日本。政治屋達を中心とした、この緊張感の無さは何なのか？あきらめなのか？外国に日本とその魂を売るつもりか？それとも、国の天下の宝刀(国民の資産を凍結し国家に取り込む)を抜く算段か？

いずれにせよ、こんな状況でこの国はどこへ向う？政治家の誰もが方向を示せない、、、

私たちは自ら信じた道を努力しつつ進むしかないのでしょうかね。

平成 23 年 9 月 13 日

気まぐれ通信 其の 6 3

●金融緩和と支援制度！？

少し前まで為替相場は1ドル100円を割って歴史的円高のと言っていたのが、今やドル76円を軸とした超円高で推移。震災などの自然災害と共に、今後の日本に重たい暗雲が垂れ込めている。

欧米、特に欧州連合の金融不安から、消去法で「消極的“円高”」となってしまった訳だ。しかし、経済的に沈んでいる日本なんかより、経済的に成長著しい国の通貨が買われても良いものなのに。

いつも言っているように日本は何に対しても消極的で無策。ましてや海外からのオドシには弱いときている。ドンドン円高になって日本経済がアップアップになっても、たかが日本の事。日本の国債が破綻しても日本国内での出来事で海外への影響は少ない。それに「超円高に対しなんら大胆な手法を取れっこない」とバカにされているのです。破綻する前には大きな動きは有るでしょうが、、、

スイスのように「ナンボでも札を刷るで～」と宣言するでも無く、「国債の償還を少し渋るカモ」言った三味線を弾くでも無く。円売りドル買いの介入を、お為ごかしで茶をにごし、一部の投資家の利益の手助けになってしまう。

円高の経済対策、特に中小企業への産業空洞化対策は、あいも変わらず「金融緩和」「支援制度」の拡充。これ以上どう金融緩和するのか？スイスに倣って札を刷るのか？支援制度は、基本は資金の貸付。どの道返さねばならない。得意先が海外に出て行って仕事が無いのにどうお金を返せばよいのか？

金融の政策は勿論大事なことだが、国としてどの方向に向かおうとしているのか？国民をどう導こうとしているのか？と言う大局的な見通しが立てられない状態ではどうしようもない。東アジアでは、政府の方針の下、資源の少ない国でも着実に計画表を実行し目標を達成しつつある。国家においても、組織においても目標とそれに向かうプロセスの構築が大切なのだ。日本および日本人にはそれが欠けている場合が多く感じられる。右と言えばすぐに右になびき、あっちの方向が良いと言えればあっちに向かう、と言う主体性の無さを見るにつけ、日本（人）には芯が感じられない場合が多いなあと感じるのだ。

平成 22 年 9 月 20 日

おまけ

●欧州の金融危機

今回の懸念される金融危機は、過去に例をみない世界恐慌を引き起こす可能性が有る。3年前のリーマンショックどころでなく、超ド級のバクダンである。リーマンショックから立ち上がろうと上を向いていた欧州銀行の顔面にトドメのパンチとなる恐れが有る。リーマンの場合はジャンク債。今回は、各国の国債償還の不履行という数カ国が関わる国家破綻が主人公。規模が違います。

どこかに破綻が始まると、想像を絶する経済情勢に様変わりするだろう。

今、機械大手機械メーカーは中国で稼働している機械の稼働率がオンラインで一目瞭然。この稼働率が低下傾向とされ、世界経済破綻の足音がヒタヒタと迫っています。今回の経済危機は、中国を始めとする新興国も避ける事はできないと言われてしています。

では、どう備えたら良いか？実は私も分かりません。預金を大切にすること？現金を大事に持つこと？お金を有力な外貨に換える？それとも貴金属に換える？どれもこれも、、、わっかりませ〜ん。やっぱり、日本人だし、預金してじっとしていますか？

平成 22 年 9 月 20 日

気まぐれ通信 其の64

●「椎茸先生」

私の大好きな手塚治虫氏の漫画でブラックジャック（以下 B J と表記）と言う天才外科医だが医師免許が無い、弱い者やまっとうな人達の味方を主人公とした漫画が有りますね。その話のひとつに病院の院長選挙を題材にしたものが有りました。

大病院の新院長をめぐる後継争いで、その地位欲しさに候補者達は贈収賄事件で軒並み逮捕。異常事態となった。一方、長くその病院に勤め目立たぬ存在であったが院長職に全く関心の無い「椎茸」と言う医師がいたのだ。目立たない為、長年勤務しているものの無欲なのでヒラ医局員のまま。周囲の医師や看護婦からもぞんざいな扱いを受けていた。しかし、B J が有る事故に遭遇した時、たまたま通りかかった椎茸先生がケガ人の処置を的確に素早く行ったのを見てその技術に感心するという場面が有った。その治療の手際だけでなく人間性も素晴らしいそのベテラン医師がヒラ医局員と知って驚いたのだ。

院長選挙の混乱で異常事態のさ中、その病院の近所で花火大会の事故が発生。しかしその怪我人を治療出来る医師がいなかった。そこで病院はやむなく B J に治療を依頼するが、B J は「椎茸先生」が居られるでしょうと推薦する。その先生をバカにしていた周囲はその提案に驚いたものの、その治療の素晴らしさに驚き立派な先生が身近にいる事に気づいたのだ。後日、その先生は皆の推薦で院長となった、、、こういう粗筋だったと思います。

この話で B J はこの締めくくっています「見える星は一等星から六等星まで有る。一等星はでかい星だ。六等星はほとんど見えないかすかな星の事だ。だが小さく見えるけど。あれは遠くにあるからで、実際は一等星よりもはるかに大きな星かも知れないのだ。世の中にはそんな六等星みたいな人がいくらでもいる。」と、、、

さて日本の新首相。党首選挙で「どじょうは金魚になれねえじゃん」と自ら地道な人間で有ると同時に、泥臭いが着実に国政のかじを取る「宣言」をしたのは記憶に新しい。それが選挙で誰に投票するか迷っていた民主党議員達の心を捉えたとも言われます。

「どじょう」と聞いて、日本人は泥臭いが身近に感じる人も多い一方、外国にとっては文化の違いから、この魚と同じく掴み所の無い翻訳困難な表現とも言えるでしょう。場合によっては誤解を招く表現で訳され、紹介されているかも知れませんね。

それはさて置き、目立たぬ人間と自らを控えめに評する首相は、先ほどの「目立たぬ六等星が実は、とんでもなく大きく力強い星」であるのでしょうか？やっぱりの六等星止まりでしょうか？

それともどじょう料理の一つ「どじょう地獄」となって一丁上がりでしょうか？

ちなみに「どじょう地獄」とは、豆腐とどじょうを鍋に入れ、冷たい出汁を注いだ後に火で焚くのですが、出汁が熱くなると温度の低い豆腐に逃げ込み、そのまま豆腐と共に料理されてしまう、、そんな料理だそうです。逃げ込んでしまって、こんな状態で「一丁上がり～」なんてならないで欲しいものです。

首相はこんな事も演説で言ってます「夜の冷たい暗さを経験したものだけが、翌朝にアサガオが咲いた時にその美しさを完全に理解し愛でる事が出来ると言う。」

さすが、演説に長けた首相。人の心を捉える引用が素晴らしい。心に染みるそれらの言葉を実感させてくれる事を望むのです。しかし、日本人はいつまで選択の余地なしに一握りの人間にのみ選ばれた「リーダー」を押し付けられる日本のシクミを嘆かわしく思い続けねばならないのでしょうかね。

平成 23 年 9 月 27 日

気まぐれ通信 其の 6 5

●「お箸」よもやま話

私達の生活に切っても切れない道具、、お箸。その発祥は、もちろん中国。紀元前 4 0 0 年から記録に残っているとの事です。日本における箸は、弥生時代(3 世紀頃まで)にピンセットのような竹の箸が有ったようですが、これはどうやら祭祀道具や農機具の一種で食事の箸は、遣隋使が始まってからの 6 世紀頃とされます。それまで手で食事をしていたのが 8 世紀頃にはかなり普及したとされます。

さて、日本人にとって箸は、さまざまな言いまわしに登場します。例えば食事を始める際の表現でも「箸をとる」「箸をつける」「箸をおろす」と多彩な表現があります。食がすすむ事を「箸がすすむ」など箸と食事は密接な関係ですね。

片や、西洋のナイフ・フォークと言った食器は 1 8 世紀頃から普及しだし、そのルーツは農器具なのは形からも想像できますね。日本の箸より 1 0 0 0 年以上後に現れた文化のようです。しかし日本語の表現のように「ナイフがすすむ」「フォークをおく」などの表現は存在しません。

面白い事に、日本に食文化の一面として多くの人に「箸は個人のもの」と言う意識が有ります。今では「マイ箸」なんて言う言葉もありますね。箸箱に入れて大切にするなど、食に対する真摯な姿勢が窺えます。

他方、割り箸などに見られる使い捨ての箸には「自分の箸への愛着」とは正反対の位置づけとなっているのは興味深い事です。

平成 23 年 10 月 18 日

きまぐれ通信 其の 6 6

●独裁は悪か？

原子力発電の事故で、いったいどれだけ被爆したらダメなのか？良いのか？と言う議論がなされている。結論からして安全な被爆など有り得ないと言われていています。それは、基準となるデータが無いからです。人体実験でもしないと分からない、と言う事はデータの取りようが無い、、

さて、リビアの独裁者、カダフィ大佐は悲惨な最期でした。古くはルーマニアのチャウセスク大統領夫妻、

今年に入ってから中近東を始めとし、多くの国で政治のシクミが国民の手によって変えられつつあります。独裁政治の中心人物達の末期は、結局自国の国民によって悲惨な結末が多いようです。

しかし、その独裁者も前政権を当時の国民の不満を汲み取り、何らかの形で国を掌握そして、国民に歓迎される状態だった筈。

その時は、リーダーを中心に多くの人々が同じ目標に向かってエネルギーを結集した結果、目的を果たしたのです。カリスマを持ったリーダーの多くがそのまま政権の中枢に留まり、その後の国を導いて行く。と言うのが今までの良く有るパターンだったと感じます。ジャスミン革命から始まった中東の民主化の嵐は、誰がリーダーと言う事も無いのに国民のパワーが結集した新しいパターンと言えます。

さて、一般に「独裁」は悪だと言われます。それは、リーダーとして専制的な為政をするが為に、他の意見が抑えられてしまい、時には弾圧的な行為にも及ぶ場合が有るからだと思われれます。しかし、先ほども述べたように、当初は「前に存在した悪」を倒し多くが満足していたはず。それが、その後長年リーダーの座に有ると「勘違い」が生じるのでしょう。自分の立場を見失い、その人の方針で左右される国民は振りまわされ、不幸な状態となるのでしょう。

「独裁」には「良い独裁」と「悪い独裁」が存在し、強烈なリーダーシップが無ければ、腐った組織を変えるには必要な存在なのです。強引な手法でも、組織が良き方向に変わり、安定的に運営される事を確認できればそのリーダーは退く。これが「良い独裁」と言えます。これからの日本には、強引にでも引っ張るリーダーシップを持った人が必要なのだ。

なんでもかんでも「独裁が悪」と決め付けるのは、これこそ変わる事を拒否する者の詭弁と言える。

かたや「悪い独裁」とは、独裁的リーダーがその座に必要以上に長く居座ると次第に勘違いし始め、仕舞には裸の王様になってしまうのだと思います。

平成 23 年 10 月 25 日

きまぐれ通信 其の67

●「大半」よもやま話 ～「大半」とは？

「多くの人々がそう感じている」と言う表現で「大半の人々が」などと言う表現をする事があります。

でも待てよ「大きく半分」だったら、半数やないの？と言うギモンが沸いてきませんか？

人によって感じ方もさまざま、7割方と感じる人もおれば、8割、9割もおられるようで日本語のあいまいさを思い知らされます。

と言う訳で、「大半」には個人の感覚的な部分にゆだねられその解釈は「半分以上」「おおかた」「大部分」「ほとんど」などと幅広く同等に捉える向きもあるようです。

ちなみに、辞典では表現内容の差がない、、、と言うよりは個人感覚なので差の付け様が無いのかもしれませんが。

さて、中国の漢字から多くを取り入れた視点から「大半」を見て見ましょうか。

中国語では割合を表現するのに「大半」を始め「小半」「一半」「多半」と言うのがあるようで

「大半」＝9割

「小半」＝4割

「一半」＝5割

「多半」＝7割

などとほぼ決まっているようです。

日本語に取り込まれた「大半」ですが、上記の表現でその他のものはお目に掛かった記憶は有りません。こんな便利な表現が存在するのに、感覚的に5割～9割5分までカバーするそれらの表現をまとめて「大半」と言う表現で残したのかもしれませんが。時には都合の良い、時には混乱をまねくあいまいな解釈は、日本

語を象徴するようです。マスコミや詭弁が得意な人に便利な単語なのかもしれませんね。

皆さんは「大半」に対し、どんな感覚を持っておられるでしょうか？
くれぐれも、だまされないようにね～

平成 23 年 11 月 8 F C 日

きまぐれ通信 其の 6 8

●増える飛び込み出産

1 昨年だったか奈良の妊婦さんが産気付き、救急車を呼んだものの受け入れる医療機関がなかなか見つかなかった。結局その妊婦は亡くなってしまったと言う悲しいニュースを憶えておられるだろう。

大阪府で医療機関の報告によると一昨年の「未受診妊婦・飛び込み出産」は 1 4 8 例に及ぶとされ、これは妊婦さんの実に 5 0 0 人に 1 人 (0. 2 %) に上る。これら未受診の理由として経済的理由が 3 割を占め、家庭の事情、妊娠の事実を受け容れない、相談相手がないなどの社会的孤立、公的手続きに関する知識の欠如、認識の甘さと続く。

未受診妊婦の平均年齢は 2 8. 6 歳であるが年齢層の広がりには 1 5 歳～ 4 4 歳と幅広く、さらに 1 5 % を占める未成年に関して詳しく調べると、その内の 9 4 % が「予定外」の妊娠と言う事だった。

また、飛び込み出産の 7 割が未婚で、妊婦本人が無職と言うのが 9 4 %。父親の 8 2 % が無職または、非正規雇用と言う実態であった。

大阪府は調査結果をこのように報告している。未受診妊婦について「理解力の低さ」「養育意識の低さ」「対人関係の取りにくさ」「精神疾患や薬物依存」など社会になじまぬものを抱える人が多い事。また、妊婦自身が過去に虐待を受けたり DV を受けた経験があったり、上の子供への虐待歴がある妊婦も見られた。また、4 割近い未受診妊婦が生活保護を受けており「経済的理由」の多さを裏付けている。

救急車で運ばれた未受診妊婦は母子手帳も無いので胎児が育つ過程の記録が無く、受け容れた病院は情報不足のまま対処すると言う負担を強いられるのだ。不幸にも妊婦さんが亡くなってしまふ事態となれば、救急体制や病院が批判されると言った言いがかり的報道もされかねないのです。

過去、日本は経済的にも教育的にも高水準と言われた事も有ったが、それらにあぐらをかいてしまった挙句、このような悲しい現実が起こっているのでしょう。

日本の行政がこれから生まれる子供の為のシクミを作る一方、行政がそれらを利用できる環境 (経済・教育・モラル) 作りをないがしろにしてきたのもその一因と考えます。

大阪産婦人科医会は「未受診・飛び込み出産」は「胎児虐待」であると警鐘を鳴らしておりますが、もちろん母体にとっても大きなリスクなのは言うまでも有りません。

平成 23 年 11 月 22 日

気まぐれ通信 その 6 9

●ニンテンドーの凋落 ～生き残りを掛ける～

携帯電話の進化のなか、さまざまな業種、業界が浮いては沈んで行った。アップル社がスマートフォンを出した時、日本の携帯電話メーカーはそれまでの主流が主流で有り続けるだろうと、余り感心を持たなかったとされます。むしろ、スマホに対し鼻でせせら笑っていた感すら有ったのです。

携帯電話が爆発的に普及し始めた頃、携帯用アンテナ業界は大きく躍進しました。しかしながら当初は携帯本体から伸ばすアンテナが多かったものの、電波状況の改善とアンテナの性能向上で内蔵アンテナに取って代り、外部アンテナ部品の市場は縮小。また、電話機のボタンを作っている会社だってそう。なにせ 1 台につき十数個のボタンが付くのだから活況を呈していたのだ。そして暫くの間、我が世の春を謳歌出来た。

アイフォンの大躍進にあわてた各メーカーはスマートフォンの開発を突貫工事で敢行。ここに来てスマートフォンが買い替えの半数を超える状況となった。見ての通りスマホにはほとんどボタンがない。つまり携帯

用ボタンメーカーは一気に減速。春は遠くなりけり、、、となった。

さて、元々高機能な上に、さまざまな機能をダウンロードで取り込める。要するに、1台あれば沢山の事をこなしてくれる、、、逆を言えば今まで専用機がなければ使えなかったものが、それが無くてもスマホさえ有れば用を足せる。

かつての「水道理論」すなわち蛇口を付ければ水を使ってくれる、、、ゲーム端末が有ればゲームソフトを買ってくれると言うゲーム業界のセット販売構図が崩れようとしているのだ。

これからニンテンドーはどのような戦略を採るのか大いに興味が有るし、参考にもなるだろう。スマホやタブレット端末の現実を受け入れ、これらにも活路を見出さねばならないだろう。

どんな国家も、企業も、個人も、変化し続けている世の中で、生き残り続ける事が如何に難しいことであろうか！

忘れがちだが、私たちは自然の摂理・原理原則の一つである「生存競争」の中でもがいているのだ。のんびり構えていたら淘汰されてしまう、、、

平成 23 年 11 月 29 日

おまけ

自転車業界は何をしてきたのか？

最近のニュースの中で自転車にまつわるものが増えている。その中でも事故についての事も多い。「自転車業界の怠慢が生んだ悲劇か？」と言うタイトルで業界のユーザー教育の無さについて書いたのがちょうど3年前だった。

昨日、奇しくも自転車の無謀な運転がきっかけでタンクローリーが二人を死なせてしまった事件の判決があった。周知の通り自転車運転者が有罪。他は不起訴処分となった。本人は「事故が起こるとは思わなかった」「何で自動車やローリーの運転手が不起訴なのか？俺だけ有罪とはおかしい！」とこれまた反省も無い。典型的な気の緩んだ日本人の見本であろう。しかも60歳とは、、、

さて自転車は人間が産まれて初めて公道を走れる乗り物であり、その継続的なルール・モラル教育が将来自動車運転にも反映されるはずである。この重要な事が売りっぱなしの姿勢だった自転車業界によって放置されてきたと言う趣旨だった。

昨今の事故増加を受けて、事故対策の検討で名前の挙がるのが「警察庁」「経産省」とそれらに付随する研究機関や専門家の方々。自転車業界には「日本自転車協会」と言うれっきとした業界団体があるのに、何故かこの問題でお出番が無い、、、不思議なコトデス。

さて3年前の私の文の締めくくりにかけていた事は以下のとおり。「これらは自転車業界が安全教育を人任せにしてきたツケもその一端とも感じるし何もして来なかったこの業界にいる事を悲しく、恥じとも感じる事が有るのである。」今もこの考えについては変わりません。

余談ですが、自転車の安全管理・統治の為、昭和30年代まで存在した「自転車登録制」「自転車税」を復活させるのもひとつの方策かも知れません。

きまぐれ通信 其の70

●嗚呼！この国の借金

今や日本の国家の借金で有る国債を始めとする借金残高は1000兆円を超えようとしている。過日友人が「一秒間に200万円以上の利子が増えてんねんなア」と携帯写メールに収めた日本の財務状況を見せてくれた。

確実に年度末（平成24年3月）には利子を含んだ国の借金は1000兆円を突破するのだ。国債だけではない、地方自治体の発行している公債を含めるとなんと1400兆円、国民の総金融資産が1500兆円

とされ、それを超えていないから日本の国債・公債は安全とノタマウ。片や日本国民は「オギャア」と産まれた時から760万円の借金を背負わされているとも言われている。しかし待てよ、、、国民の金融資産をアテにしているクセに「国民は国の借金を背負っている!？」こりゃどう考えても可笑しい。詭弁だ!

そもそも昭和40年(1965年)に特別立法で恐る恐る国債を発行し始めたのが、借金まみれへのスタートなのだ。国債発行は打ち出の小槌。これはオイシイとそれまで立法などの歯止めがあったのが、タガも外れ、昭和50年を境に国債発行は暴走を始めた。一部の腐れ官僚・タカリ議員らにより、小槌から湧いたお金は彼らの「利益」となって闇に消えた。そのジャブジャブに溢れたお金がバブル経済の引き金の一つとも言えよう。専門家ですらバブルは行き着くと崩壊すると言う当たり前の経済の原則が見えなくなる異常な心理状況に陥ったのだ。そしてその頃、税収が充分あるのに更に国債を発行し続け、バブルの崩壊の後も国債返済の為の国債発行をすると言うバカな状態に陥ったのだ。景気が良い時は放っておいても景気は良いのだ。わざわざ借金を増やして公共工事をする合理的必要性は無い。かくて唯一、国債発行残高を減らす機会を逸したのだ。そして有ろうことか、禁断の果実、郵便貯金という国民から預かったお金を「財政投融资」としてつまみ食いし、国債でまかなえない分を補填しだしたのだ。国民新党の亀井党首が「郵貯限度額2000万円」を言っていたのは「郵貯のお金をもっと使えるように」との思惑が有る。郵政改革に乗じた国家救済を演じようとしたのだ。要するに「役人にコピを売ろうとした」一面が有る。

話を戻そう。かくて国家予算100兆円、税収40兆円、その100兆円の予算から返済する国償還と利子は30兆円となってしまった。一般に企業は借金が売上げの半分を超えると破産状態とされる。税収40兆円前後。国家の借金1000兆円。借金はGDPの4倍、、、とギリシャの遙か上に行く。このままでみると国としての日本は破産状態。最後の砦は、一部のくされ官僚・タカリ議員たちが一生懸命守ろうとしている「特別会計」これは国家予算の裏勘定と言うべきものだと言った過去に書いた事が有る。200数十兆円の上るこのB勘定を一般会計と合算し、ムダをなくす事で大幅に国債のリスクは減少する。しかし、目先の利益に目のくらんだ腐れ官僚・議員達がこれを守ろうとする限りムリであろう。一握りの腐った連中のせいで、国家がゆらいでいるのだ。彼らは借金が1500兆円を超えたら言うだろう「土地、財産、資産を含めた国の財産は5000兆円を超えているから大丈夫!」、、、、と

ちなみに4年ほど前、証券会社から「国債を買いませんか?」と営業電話があった際、私は「倒産寸前の会社の株を売り付けるんですか?」と問うたところその証券マンは返事に窮してしまった。つまり当時から証券マンはとっくに国債は「紙くず」と言う認識をは持っていたわけだ。

平成23年12月12日

気まぐれ通信 その71

●混乱の予感

もう早や今年1年も過ぎ去ろうとしている。大雪で明けた今年の正月だったが、大震災、原発禍、記録を塗り替える大雨、タイの洪水と日本に関わるだけでもざっとこれだけ思い浮かぶ。世界的にも天変地異を始め、各国の大きな変革を求めての混乱。また、来年は大国の元首交代や選挙が目白押しで予断を許さぬ状況。そんな中で昨日飛び込んできたのが北朝鮮の金正日の死去。小国ながら今後の影響は大きいのは周知の通り。

欧州のユーロ危機、バブル崩壊中の中国、それらに道連れにされかねない他の国々、、、わが身可愛いのが当たり前。国によっては理性を失い、国によっては自己中心で立ち振る舞う可能性も大いに考えられる。

かくて日本力と判断力、統制力の無い政府の下、各国に政争の道具として扱われ埋没の危機に瀕す。日本政府の情けなさは近隣国の試験的チョックイと米軍基地などに対する対応で実証済み。

混沌とした状況下、再び秩序が戻るのはいつなのか? マヤの暦はマンザラまやかしでは無いっ!? とは思いたく有りませんが、、、

おまけ

● 「かるた」 ちょい話

正月も近づいてきました。大昔の正月の遊びといえば「跳ねつき」「独楽」「かるた」「福笑い」「双六」などなど私には懐かしいものでした。

その中で畳の上のスポーツといわれる「百人一首」と言う「かるた」があります。子供がのんびりと興じるものとは違いますね。

その「かるた」ですが、語源は「カード」と同じで「紙に絵や文字を描いたもの」のポルトガル語です。ドイツ語である「カルテ」も同じく「書いたもの・記録したもの」を表す患者さんの履歴と言うわけです。

平成 23 年 12 月 20 日

気まぐれ通信 その 7 2

● 「絆」

毎年恒例の世相を表す漢字が「絆」と発表されましたね。

広辞苑によるとその意味は

① 動物をつなぎとめる綱。

② 絶つにしのびない恩愛。離れがたい情実。

と有ります。当然ながら今回選ばれた意味は②ですね。

皮肉にも 3 月の大震災と原発事故が、日本人から薄れつつあった・忘れつつあったこの言葉を重みを思い出させてくれたようです。

近隣の付き合い、会社・社会でのコミュニケーションの欠如が言われて久しいのですが、日本人はどう勘違いしたのか「人に頼らなくても自分で生きて行ける」と思い込み、助け合う事や、人との交わりの煩わしさを避けてしまう人が増えたような気がします。このように自己中心的な人達に共通する頭の構造が有ります。事が上手く行かない場合には原因を他人に求める勝手な傾向が有る事が統計でも表れています。このような自己反省の無い人達には進歩や改善は難しい事もデータとして証明されています。

さて、そのような日本の風潮の中、未曾有の震災によってお互いの気持ちを汲み、助け合い、寄り添いあうと言った薄まりつつあったコミュニティの本来の有り方と良さを思い起こし「絆」と言う漢字に集約されたのだと思います。

ところで、この「絆」と言う漢字。「糸」＋「半」と言う偏と旁から出来てます。「半」は、「牛＋八印」の組み合わせ文字です。「牛」を物の例えとし、双方に分ける意味の「八印」で「何かを二つに分ける」と言う表記文字としたのです。「絆」における「半」は“半分にする”と言う意味より“分かつ”と言う解釈だと分かり易いと思います。

と言う訳で「糸を分かつ」で“つながり”となるのでしょね。

さらに、絆の「半」を良く見ると上のチョンチョンが「丿 ㇇」では無く両下がりの「㇇ 丿」となっています。例えば、畔、判、伴などは「丿 ㇇」。片や、絆、拌、袷などは「㇇ 丿」となっています。

先ほどの「半」の成り立ち説明から言えば「㇇ 丿」が本来なのですが、これは何故なのでしょう？

1940年代に「当用漢字」が制定された際、当用漢字と認定された漢字が新字体に統一され、そうでない漢字は旧字体のまま放置され現在に至ったのがその原因とされます。当時、当用漢字から外されたものはやがて使われなくなるだろうと、放置された結果だったようです。

さて来年は「絆」を始め、日本人が失いかけている「古くても今に生きる良き物、事」がより一層見直されるようになって欲しいものです。来年は良い年でありますよう、、、

平成 23 年 12 月 27 日

●創造の干支「龍（辰）」 ～荒削りの私見～

丁度3年前「干支よもやま話」を書いたのですが、その際“それぞれにあてがわれた動物は中国の古い時代、民衆に「十二支」を浸透させるため覚えやすいようにと動物名をあてがったからだとされます”と書きました。今年の干支は「辰」、、「龍」とも「竜」とも、そして「ドラゴン」とも言われますね。

龍は遡る事数千年も前に創造され、洋の東西を問わず幅広く伝説や彫刻、絵などが存在します。西洋の龍は「ドラゴン」に象徴されるように四本足で歩行できる絵が中心で、これらがトカゲの英語標記「DORAGON」に結びついたのかも知れません。と言うわけで「ワニ」由来説もあるようです。

私は「龍」の起源が自然界に由来すると考えます。そのヒントとしては「龍・竜」に「シ（さんずい）偏」を付けると「瀧・滝」になる事です。瀧は、規模が大きいほど自然の力と脅威、そして畏怖・畏敬を感じさせてくれます。また、天候が荒れると瀧も更に勢いを増し牙をむく、、その雄々しく落ちてゆく水の活き活きと変化するさまと轟音に力強い不思議な生命力を見出し、力強い生命体を見たのかも知れません。また水は生命に欠かせない大切な自然の贈り物です。さらに龍は川の主であったり、守護神で有ったりと、、水の化身が龍の姿として自然を象徴しているのでは無かろうかと感じるのです。

龍は時代を経て「力や権威のシンボル」となり、また「力強いものの象徴」としても引用されるようですが、干支の中に想像上の「龍（辰）」を入れたのは当時の中国の皇帝や学者達の思いが込められたのかも知れません。

今年は「辰年」。この一年で世界を駆け巡る想像を超えた変化や日本が直面する困難に龍の如く雄々しく対処できる人達が現れて欲しいものです。もちろん私達も頼ったり求めたりではなく、1人1人が力を合わせ、良い方向に向かうようあらゆる努力と対処をしなければならないのは言うまでもありません。

平成24年1月17日

アメリカ在住の知人の文面

●三度目の正直がなかったのに、なぜ彼らは葬られないのだろうか？

初代鳩山、二代目菅直人、三代目のドゼウ、

民衆としての日本人が政治目的をもって政治の改革した！という歴史認識を僕はもっていない。戦国時代の政治目的は武将達のそれで、明治維新では薩長同盟を軸とした反政府武士によるものだった。封建時代にも軍国時代にも、民衆がたちあがって政治的変革を求めて政府を打倒！という力が育つことはなかった国が日本なのである。今、日本は存亡の危機に立たされているのに、駄目政府の存続を許している。これが他の国だったなら、既に民主党政権は葬られていると思うのだが、なぜ日本にはそういう動きが起こらないのだろうか？最近、支持率がチョコッと下がったようだが、ドゼウ首相誕生で日本国民は変化への期待をした。日本存続が危ぶまれている今、強いリーダーではなく民主党三度目の正直でドゼウに期待をかける国民がいる。

「自由な国家を勝ち得る為に民兵の組織化と銃の所持が必要であることから、市民が武器を保有し携帯する権利が侵されてはならない」。米国憲法修正第二条により米国民には銃所持が許されている。この意味するところは、米国政府が、仮に独裁など、国民の利益に反する方向に走るようなことがあった時、国民が民兵を組織し、銃を持って政府を打倒する権利を保証しているもの。利益を守る為に、この国は戦争を通じ、主宗国イギリスから独立を果たした。アメリカは市民の力により独立を果たした国、この精神が市民の精神に焼きついている。

所持が許されているのだから、銃による犯罪率が高くなって当然。そして犯罪率が高くなれば、銃所持を許してはならない！という銃規制への動きが出てくる。しかし銃規制の声があがる度に反論としてあがるのは、このような政府に対置させた市民の権利ではなく、犯罪から身を守る権利、そして狩猟の権利として、銃所持を許すべき！という反論。それらは憲法が守ろうとする米国市民の権利ではないことは明白だ。銃規

制がアメリカ建国の精神・方法論を否定するもの！という点は語られているのだろうか？

日本の場合、明治維新が封建政府からの脱皮であったが、これは薩長同盟があったからこそその出来事であっても、民衆や民兵による革命ではなかった。また、太平洋戦争の終結が日本帝国軍事主義の終焉でもあったが、結果として日本国民が得た自由と民主主義は、俗にいう戦後民主主義というもので、日本国民が自らの手で勝ち取ったものではなく敗戦によって米国からもたらされたものであった。

米国から押し付けられた民主主義！と批判的に語る人たちがいるが、それならば彼らは軍国主義が続くことを選ぶのだろうか、それとも民衆を組織化して、戦国時代の昔から勝ち得ることができなかった自由を、自らの手で勝ち取る方法を選びたいのだろうか？ ドゼウ内閣がそのまま安全でいられる国なのだから、自らの手による民主主義実現も容易、銃さえ必要ない！筈なのだが、アメリカ民主主義を批判する彼らが日本民主主義を目指す！という声はあがってこない。

いずれにしても、ここで言いたいことは、日本の歴史の中で、日本国民が、自らの手によって、政権を打倒して自由を勝ち取った！という経験を持たなかった！という事実の認識である。民衆を組織化して立ち上がろうとした大塩平八郎の乱がせいぜい！というところで、他は、力ともなり得ない百姓一揆だけであった。封建時代の反乱の全てが不発に近いかたちで鎮圧された。2・26事件は民衆とは無縁、山口乙矢事件は右翼による単発行為、その後はというと、60年代後半の学生運動が日本で最も組織化された反政府運動であったが、余りにも過激派がアナーキー（無政府主義）過ぎたので日本国民の賛同を勝ち取ることはできなかった。この後、三島由紀夫の”軍隊ごっこ”が日本最後の反政府的な気概だったと思う。

60年代後半の反政府運動、これはソ連や中国から指導された日本共産党や社会党が組織化した労働者運動を軸にして正義感の強い学生を組織化したもの。ベトナム戦争をアメリカ政府の責任！アメリカ帝国主義が悪である！と前面に出すことによって、共産思想とは無縁のところにいる単純で正義感が強い学生達の心をとらえた。その上で、インテリを演じることを好む学生を上手に共産主義思想に導いていったものだ。赤軍のように過激すぎて北朝鮮まで亡命した連中は愚の骨頂で、マジョリティーの共産主義カブレの学生は、社会に出てから目が醒めて、今は学生運動時代には批判していたプチブル生活を満喫している。これでは学生運動なんて麻疹のようなもの！と言われても仕方ない。

当時、学生運動は世界的な規模のものだった。北朝鮮に亡命した米兵ジェイキンズさんですら、共産主義をよし！としていたほど。この世界規模の反米運動＝親共産主義のパワーがベトナム戦争終結への力となったことを知っている人間はどれほどいるのだろうか？

ベトナム戦争に負けたアメリカ、その負には大きく分けて原因が二つあった。一つは敵が見えなかったこと。北により組織化されたベトコンが民衆に紛れていたからだ。そして、二つ目に世界の反戦世論があった。当時を振り返って、こう言うアメリカ人は多くいる。

僕は留学してすぐに永住許可をとったが、当時、これで僕はベトナム徴兵への対象となった。徴兵された留学生は何人かいたし、その中では、日本で脱走した留学生もいた。結婚していたということで徴兵の順位が下がったこともあって、幸いにも僕が徴兵されることはなかった。当時、僕の周りでは、息子がベトナムで死んだ！という親と会うことが少なくなかったし、ビールを飲みながら徴兵カードに火をつけて焼き、そのままカナダに逃げたアメリカ人の友人たちもいた。

いろいろと周りクドいことを書いてきたが、原爆を二つも落とされた国として福島原発事故はあってはならない事故だった。別の場所で次の爆破があったら、日本はもう終わりだと思う。終わりではなくとも、日本の栄華は夢のまた夢、向こう100年の回復・復興は容易ではない！筈だ。モンジュかもしれない！？想定外だった！という言い訳は二度と聞きたくない。

現在の日本ほど強いリーダーが求められている時代はない！大改革が求められているということなのだが、駄目な政府を打倒！するとかいう気概も見えてこない。経済は停滞、政治は無能、回復可能限界線を超えて、

警告ゾーンでブザーが鳴らしながら赤ランプ点滅状態。それでも国民は平和ボケのまま。逸る気持ちの改革派がでてきてもおかしくはないところまできているのに、今の日本にはそれがない！　なんでやの？

シアトル 小野沢昭志 平成 24 年 1 月 17 日

知っ得言葉 1 今回から「よく聞くけど良くわからな〜い」って言う言葉などを採り上げ、簡潔に伝えてみます

・ジャンコード (JAN CODE)

日常生活で買い物をするとレジでバーコードを通し、製品や単価の情報が呼び出される。このバーコードは日常生活に広く普及しているが店頭に並ぶ製品についているのは「日本の規格に基づいたバーコード」で「ジャンコード」と呼ばれる。原産国コード+与えられた企業コード(会社番号)+その会社の製品の番号で構成されている。販売管理に欠かせないツールだ。大抵ジャンコードには数字が併記されており先頭の原因国のコード“49”若しくは“45”であれば日本製である。参考までに原産国コードは米国“10~13”、台湾“471”、韓国“880”、中国“690~695”、独“400~440”、仏“30~37”と言った具合です。

平成 24 年 1 月 24 日

気まぐれ通信 その 7 4

●カニミソは何ミソ？

冬の味覚のひとつにカニが有りますね。10数年ほど前に日本海は京都-兵庫の県境、竹野という場所にある小さな民宿。そこで食べたカニはすっごく美味しいものでした。生の足身をスプーンと殻から抜くとみるみる身が大きく膨れるのです。そのまま食べても文句無しですが、しゃぶしゃぶにすると身がランの花が咲き乱れたようにパアッと華やかに広がる。そんなカニでした。残念なことに、それ以来そんな絶品なカニにはめぐり会えてません。

さて、カニの身も然ることながら、もうひとつの楽しみに「カニミソ」が有りますね。見た目は少々グロテスクですが味は酒の肴にピッタリ！と言うものの見た目で見えがはつきりするシロモノでもあります。

ミソって言うくらいだからカニの脳ミソ！？なんですか？。まさかねエ、、専門的に言えば「中腸線」と言われる臓器で、節足動物(エビ、昆虫等)や軟体動物(イカ、貝、ナマコ等)などもこれをもっているそうです。塩辛に使うイカのワタや、ナマコのコノワタにもこれらに属します。

私達に例えれば肝臓と脾臓の役割を併せ持つ臓器とされます。と言う訳で、言わばカニの肝臓と言えるんですねエ。カニミソはレバーペースト。即ち「レバミソ」と言えますかね。

余談ですが、かれこれ40年以上も前の話、、

私の親父が「ええカニ、買うてきたデ」と大きなカニを自慢げに土産を持って帰ってきたのです。

お袋はカニを持ち上げるなり「エライ軽いやないの!？」と一言。

「そんなことあらへん。身割って置いてた見本は、ちゃ〜んと身割が詰まっていたデ」と強がりの反論。

お袋すかさず「どこで買うたん？」と問い詰める。

「天王寺の陸橋の上で売ってテン…」と少々テンションの下がる親父、、

「そらアカンわ」と言いつつお袋が包丁で割ったら案の定、見事なまでにスカスカのカニでしたア(笑)

以前には新世界で「ボロボロの革靴でもキレイになる」と言う触れ込みの「魔法の靴墨」を買わされてしまい、靴をダメにして落ち込んでたようです。名誉回復とばかりに買ったカニで返り討ち、、

親父は厳しい半面、人を信じやすいお人好しでも有ったようです。

同じ騙しでも昔はちょっと微笑ましい騙し屋が多かったようですが、昨今の騙しの手口はエゲツナく感じますね。ヒトの脳ミソは、ちゃんとした事に使って欲しいものですね!

平成 24 年 1 月 24 日

知っ得言葉 2

・機能性ヨーグルト

ヨーグルトは元々腸内健康（整腸）に良いとされるが、各種の乳酸菌が持つ機能が解明され、整腸以外に特定の好影響をもたらす乳酸菌を使ったヨーグルトの事。ちなみに求める効果に対し1日100gを目安に食べ続けると良いとされる。

※特定機能を持つヨーグルトを数点紹介させていただきます

●ガゼリ菌SP株ー内臓脂肪を減らす

●ビフィズス菌BB536ー花粉症を緩和

●1703Rー1乳酸菌(商品名R-1)ー免疫力を高める（インフルエンザにかかりにくくなる）

●LB21ー胃潰瘍、胃ガンの原因とされるピロリ菌を無くす（私は、胃内のその菌が消えました）

●LB81ー肌（皮膚）の健康に良い、、、など

※明治・森永・メグミルク等スーパーで身近に手に入ります。パッケージに菌種が記載されています。

※効果は何れも集団実験等で検証済みですが、医科学的には因果関係が証明されていないものも有ります。

※100%の人に効果が現れる訳ではありません。また、原因が他に有る事も考えられます。

平成24年1月31日

気まぐれ通信 その75

●ノーラン・ライアのピッチャーズバイブル II ～チーム作りの新バイブルとなるか？～

4年前の3月「ノーラン・ライアのピッチャーズバイブル」と言うタイトルの文章を書いたのですが、今回はその続編となります。前回の概要は以下の通りです。

ノーラン・ライアはメジャーリーグで27年間、第一線で活躍し続けた驚異的な記録を多く残した驚異的なピッチャーでした。彼は健康・体調維持のため徹底的な自己管理をし、それらが後々「ピッチャーズバイブル」として現在、投手達の自己管理の標準となっています。

「ライア氏は小さな頃から牛を育てて売り、13歳の頃には既に自家用車を持つようになっていたと言うのが有り、経営的な手腕も備わっていた」ようで2008年に最後に所属したテキサスレンジャーズに招かれた。彼が経営に参画する事となり、今後このチームが楽しみだ、、、という内容で前回の内容を締めくくったのでした。

ライア氏は子供の頃夢だった実業家として成功し、今やその球団実質オーナー、そして社長でもある。果たしてその2年後の2010年には11年振りの地区優勝（ア・リーグ西）し、昨年(2011年)も地区優勝。更にワールドシリーズ進出と着実に地歩を固めてきました。

ライア氏が招聘された前年の投手防御率はメジャー30球団中最低の5.37でした。で、次の年には18位の4.40と改善。そして11年振りに地区優勝した2010年と、昨年の地区優勝の2年間は3点台とし、その原動力となったのです。

ライア氏は組織改革・トレーニング改革にあたり、先ず自分の理論と考え方を理解し実行出来るコーチ達で固め、自軍のメジャー～マイナーリーグ（ファーム）の投手達に「ライア理論」を植え付けて行っただけで済んだ。意識の改革も怠らなかったのです。組織の力は、コーチや選手達が同じ方向を向く事で更に大きな力となります。意識はその根底を支える最重要部分と言えます。

技術の面で言えば「投球で何より大事なものは“制球”」そしてそれを支えるのが「高いコンディションを維持する為の自己管理」と言うのが彼の理論で有る。当然投手・選手達もこれについて行かねばならない。そして、更なる強化を目指すのがバッティングだ。投手力が充実すれば、後は得点能力の向上、、、と言う訳で、実現すれば鬼に金棒！のチームとなる。先々「ライア理論」に基づいて育成されたとんでもないバッターが出てくるかも知れない。

ファームから切れ目無い若手の育成、そして成長著しい選手達の現状を見るとレンジャーズの長期にわたる黄金時代を予感させる。実現すれば新たなライアンのバイブル伝説が生まれる事だろう。

知っての通り日本球界を代表する投手、ダルビッシュを獲得したのも「投手王国」レンジャーズを固める為であろう。日本人選手の評価が下がる中、あの金額は「彼をどうしても欲しい」事の現われだったと思われる。このチームでは日本人投手が3人となった訳だ。日本の球界が寂しく感じられるが、こちらの楽しみは見逃せない。ダルビッシュの持つ球種がすべて「決め球」と言われる実力で、メジャーの記録を塗り変える男イチローを始めとする屈強なメジャーリーガーとどう対峙するのかが見ものです。マリナーズの本拠地で取材をされている知人は、只でさえ岩隈、川崎が加わった上に、レンジャーズとの試合ともなると超イソガシクなるだろうと「嬉しいボヤキ？」をされています。

平成 24 年 1 月 31 日

知っ得言葉³

・ T P P (Trans-Pacific Partnership トランス (横断=環) パシフィック (太平洋) パートナシップ (友好条約))
アジア太平洋での自由貿易圏の構築を目指すための協定のこと。

参加国同士の貿易については原則的に関税を撤廃する。協定を結んだ国同士の関税を撤廃する事により、国によっては経済に有利・不利が生じたりする可能性がある。場合によっては国益が偏ってしまう不公平も考えられる。そのため、各国は自国へのメリット・デメリットを測りかねており国内でも大きく揉める状況となっている。

平成 24 年 2 月 7 日

気まぐれ通信 その 76

●突っ込むほうも、突っ込まれるほうも、、、～ユルユルになってしまった日本人～

国会議員のプロレスごっこ、なかよし会議。他方、学級崩壊議会などなど揶揄するには事欠かない国会、、、かつて、ある法務大臣はこう言い放った「法務大臣は楽ですね「個別の事案については答えを差し控える」と「法と証拠に基づいて適切にやっている」とどう答弁すればよいか分からないときはこの2つを使えばよい、、、と。

首相・大臣達の答弁で目立つのは「努力している」「適切に対処している」「前向きに善処している」「検討している」等々、何もやっていないにも関わらず「現在進行」で返答しているのが大半なのだ。釈明、説明においてもおなじだ。このように答弁する側もヘタレ答弁なのだが、質問者もトコトン突っ込む事が出来無い。「どのように、いつまで」それで「どんな結果をもたらそうと考えている」のか？

中途半端な答弁に対し、中途半端な突っ込み。双方とも力量不足も甚だしい。もっと勉強・努力せいつ！！です。かくて国会は、大臣達をいじめる「ストレステストの場」と化してしまった。

もとより、論戦をする力量がないので野党が飛びついたのが「新大臣いじめ」であろうか？ナサケナイ大臣を選ぶほうもドボンですが、それをダシにして時間の浪費をする状況も、そしてそれを面白おかしく採り上げるマスコミも低俗です。

政治家の資質が落ちたのか？マスコミが落ちたのか？そして我々も落ちたものです。と言う訳で、何も出来ない愚かな政治屋達を我々の税金で遊ばせているのだ。こんな落ちたヤカラ達に政治の舵を持たせていると日本は沈没してゆくしか無いのでしょうかね？

まるで地中海でコケた豪華客船の無責任船長を見ているようです。どういう意味かって？船が非常事態になろうとしているのに、優雅に女性とディナー、いざ船が危なくなってもなんの指令も出さない、自分はさっさと救命ボートで避難、、、沿岸警備隊の隊長が「船に戻れ！」と叱責。船は当然日本を指し、ディナーは

努力・勉強もせずお遊びにふける事、指令を出せないは、方針を示せない。逃げは背信、救命ボートは用意してある逃げの手段。沿岸警備隊は IMF と言ったところでしょうかね。

平成 24 年 2 月 7 日

知っ得言葉⁴

・デジタル・デバイド (digital divide)

パソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる、待遇や貧富、機会の格差を指す。ちなみに“デバイド”とは”分割“。デジタル機器が身近でなく、能力的・物理的に使えない状況を指すのでしよう。

平成 24 年 2 月 14 日

気まぐれ通信 その 77

●身近になった携帯端末と新たなデジタルデバイド ～ネットワークの落とし穴～

スマートフォンやタブレット型端末といわれる携帯端末の普及で、便利な事が簡単に出来るようになった。それらの普及でそれまで必要だった知識やキーボード操作の煩わしさから開放され、大きなデータの情報でも、どこでも楽々手に入れる事が可能となったのだ。それまでデジタル・デバイドでパソコンなどの小難しい機器には縁の無かった人々や、お年寄りの方々も情報の収集と発信をどこでも手軽に楽しむ姿が良く見られるようになった。片や携帯端末が無いと不安に陥るデジタル中毒・不安症も侵食中、、

「いかにコンピュータを身近な誰でも操作できるようにするか」を目指してきた故スティーブ・ジョブズ氏のであったが、これらの進化系はとどまるところを知らず将来目の動きや頭で考えただけで画面が操作できたり、見たものが写真になったりと情報の収集・発信までの操作がほとんど動作無しで可能となるのだろう。機器を介したテレパシーとでも言えば良いだろうか。と言う訳で、一定のインフラが構築された下ではデジタル・デバイドは劇的に解消されてゆくと考えられる。恐ろしく進化するであろう情報端末とその技術の応用は人間工学と IT 融合の粋として驚異的に進化・深化するだろう。

一方、技術が進化してもそれに中々追いつけないのが人間だ。端末といえども膨大なデータが収められるれっきとしたコンピュータなのだ。情報の受発信が容易になった分、情報の管理が甘くなり自分の情報のみならず保存してある他人の情報などが容易に盗まれたり悪用されたりするリスクが非常に高くなる。コンピュータウイルスが継続的にニュースで話題になっているが、ネット社会で新たなターゲットとされたのがこれら携帯端末。現在 1～2 秒に 1 つの速さで新しいウイルスが携帯端末のネットに流されていると言う専門科もある。ハッカーと言われるヤカラは、いかに人間心理をかいくぐり、くすぐり、逆手に取り、端末に侵入しようかと工夫を凝らし、社会が混乱しているのを見て悦に入る。騙される方はマサカ自分が、、と言う脇甘の意識でイチコロ。餌食となる訳だ。そして、平和に慣れたノンキな日本人は特に脇が甘いとされる。

ここに使用にあたってのデジタル・デバイドは解消されつつ有る一方、便利の裏にある落とし穴に無頓着と言う意味では新たに「情報管理のデジタル・デバイド」が出現したと言えなくは無いだろうか？便利さが増せば増すほど益々底知れぬデジタルネットワークの深い闇に苦渋を飲まされる事が増えてゆくのだろう。なにせデジタルの空間は無限と言っても過言でない電脳仮想空間（サイバースペース）なのだから。

余談だが、日本のスマートフォンは海外のそれと比べ、日本語の複雑さはもとより、独自の(=余計な)付加機能が多い。そのため市場の限られた日本仕様のスマートフォンをウイルスから守ってくれる専用プログラムの作成はコスト合わないのだとか、、こんな事でも日本市場が見限られつつある現状を垣間見れる。

一方で携帯端末の本体にデータやプログラムを保管せず、別の場所で管理する方法もあるようだ。これはかなり有効だが、防衛手段の一つに過ぎない。これとてセキュリティを破られれば情報はごっそりやられてしまう。情報管理会社がこれら預かりデータを誤って消去した、、とのニュースも出ていた。

昔から言われていることは「人間の作った金庫は必ず破られる。なぜなら、破るのも人間だから、、」

いずれにせよ、セキュリティはイタチゴッコ。常に更新しないとダメと言われるゆえんである。

平成 24 年 2 月 14 日

知っ得言葉 5

・モラルハザード (moral hazard)

モラルは、「道徳・倫理・教訓」ハザードは「欠如・崩壊・危険」などの意味です。

危険回避のための手段や仕組みを整備することにより、かえって人々の注意が散漫になり、危険や事故の発生確率が高まって規律が失われることを指す。と言う訳で、元々は保険業界の用語だそうです

仕事における安全なシクミを作ってかえって安心し、トンでもない事故につながる事があります。

安全・安心などの防御の中で暮らしていると勘違いと増長を生み、倫理の欠如による道徳的節度の喪失と、それに伴って社会的な責任を果たさなくなると言う一面もある訳です。

日常の常識・ルール破り、一方的な自己主張、モンスター○○などもこれらに属するでしょう。

詰まるところ、人間の気の緩み・慢心がもたらし、増長してゆく現象と言えます。

平成 24 年 3 月 6 日

おまけ

「もやし」よもやま話～ある番組を観て

1月は「いぬ」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われ、新年が明けると季節の遷ろ^{うつ}いが早いを感じます。

3月は古い言い方で「弥生（やよい）」とも言いますが、これは“弥（や）”は「いよいよ」を意味し“生”は「生える・芽吹く」という意味です。すなわち“弥生”は「いよいよ芽吹く時期」と言うわけです。

さて、一年中芽吹いているもので私たちに身近なものが「もやし」です。もやしは「萌やし」でもあり、まさに「萌え出た芽」を指します。平安時代は薬としても利用されていたようで、その力強い芽吹きから栄養があると考えられていたのでしょうか？その時代は貴重な食材だったのでしょね。

さて、日本の鎖国時代、唯一海外の窓口だったのが長崎。現在のもやしが入ってきたのは約350年前中国から来たものでした。「長崎チャンポン」はこの時代、長崎の料理屋が中国の留学生のために創り出した麺料理だそうです、モチロンもやし入り。これが現在も長崎名物として引継がれている訳です。

もやし豆は、もやしになると重量は10倍。量は言わずもがな、その何十倍にもなります。いまや工場生産（栽培）され安定的な供給により身近で安いもやしですが、もやしの豆はミャンマーや中国からの輸入に頼っており、いつ何時身近でなくなるか予断を許さないのが実情です。

昔、もやしと言えば豆の皮がついたままのものが主流だったのがいつの間にか皮が残ったもやしって見なくなりましたよね。どうやって取っているのかナゾです。私は個人的には豆の皮が好きだったのに、、、

身近で安いもやしですが、根と豆部分を取り去った軸の部分を「銀芽（ギンガー）」と呼び、これは食感が良く別の側面を見せてくれます。一度お試しあれ。

平成 24 年 3 月 6 日

知っ得言葉 6

・ロハス (LOHAS) と ローズ (RoHS)

「ロハス (LOHAS)」とは健康や環境（問題）に関心の高い人々のライフスタイルを指す。地球環境に優しい「ロハスな生活」などと言ったりする。

片や「ローズ(RoHS)」とは、ヨーロッパ連合が定めた電子機器等の有害物質使用規制の事。

まったく違う見地から出来た環境にやさしい言葉だが、読み方こそ違え、偶然にもアルファベット表記は、見間違いそうです。

知っ得言葉7

・環境ホルモン

人類を含む生物全般のホルモン作用を乱す物質を指す。

生物の異常生殖機能・行動、雌雄の分化異常、免疫異常、神経への悪影響などを発症させる物質としてDDT（ダニ、ノミの除去薬）、PCB（電柱などの大型コンデンサに使用）、ダイオキシン（農薬に使用）など過去に当たり前のようによく使用されてきた物質がある。また、これらは自然環境を悪化させる「環境負荷物質」にも属する。

平成24年3月27日

きまぐれ通信その78

●プロ野球～球団は世に連れ～

プロ野球もオープン戦が終盤に入り、開幕も間近となりました。メジャーのチームとオープン戦、など昔では考えられない演出も珍しくなくなった感じです。

さて、日本のプロ野球のチームも世につれオーナー会社が変わったり、チーム名が変わったりと時代を反映している事を感じます。そこで私の記憶の範囲でチームの遷り変わりを綴ってみました。

映画会社全盛の頃、「松竹ロビンス」「東映フライヤーズ」が有りました。「松竹ロビンス」は後に「大洋ホエールズ」に吸収され、後に「横浜ベイスターズ」に。そして今年の中畑監督率いる新生「DeNAベイスターズ」へと生まれ変わったのです。

「東映フライヤーズ」は、不動産大手の日拓グループに買収されました。会社の知名度アップのためだけに「日拓フライヤーズ」として1シーズンのみ「利用」したのです。そして現在の「日本ハムファイターズ」へと続いているわけです。ちなみに「日拓」の現社長はタレントの「神田うの」の旦那です。

昔は、国鉄（現JR）もプロ野球のオーナーでした。今でも元気な金田正一氏が在籍した「国鉄スワローズ」です。国鉄の手を離れて新聞社の「サンケイ・アトムズ」へ。そして飲料の「ヤクルト・アトムズ」へと変遷。そして元のツバメの名前を冠し現在の「ヤクルト・スワローズ」へとつながるのです。ヤクルトのマスコミシャッターアウトの練習ともなると「乳酸菌のカーテン」などと揶揄されるようです。

元々九州に有ったのが「西鉄ライオンズ」。後に「太平洋クラブライオンズ」「クラウンライターライオンズ」となり、埼玉県は所沢に「西武ライオンズ」として落ち着いています。残念な事にかつてのオーナー「太平洋クラブ」は今年の1月、民事再生法を申請。事実上倒産してしまいました。

ちなみに「ヤクルト・アトムズ」「西武ライオンズ」の2球団が手塚治虫氏のキャラクターを採用していたのです。もちろん「アトム」と「レオ」です。手塚氏のキャラクターの幅広い人気を伺えます。

かつてパ・リーグのお荷物球団と言われた近鉄。最初は鉄道が伊勢とつながっていることから名産の真珠を冠した「近鉄パールズ」で発足。「真珠だから、おしとやかで勝てないんだ」と猛牛の「近鉄バッファローズ」へ球団名を変更したのです。

対照的にパ・リーグで強かった「阪急ブレーブス」は、金融会社のオリックスがオーナーとなり「オリックス・ブレーブス」へ。更に「オリックス・ブルーウエーブ」へと名を変えたのです。

かつて2リーグ制を1リーグ制に変えるべく球団減らしを画策され、翻弄されたのが「近鉄バッファローズ」でした。騒動の中「近鉄バッファローズ」はオリックスに吸収される形で解体。オリックスは球団名を「オリックス・バッファローズ」とし、再出発したのです。そして救世主のごとく？現れた「楽天」が、「楽天ゴールデンイーグルス」を立ち上げ、元の近鉄の選手はオリックス、楽天へと、たもとを別つたのです。この一連のごたごたは記憶に新しいでしょう。

「南海ホークス」は、当時日の出の勢いだったダイエーがオーナーに替わり「ダイエー・ホークス」となりました。「西鉄ライオンズ」が無くなった福岡（＝九州）でのダイエーの知名度向上と、中国に近い事などビジネス戦略上重要なPR拠点としての福岡を選んだのでした。巨人軍の看板だった「王」氏を一地方球団の監督に招いたのも、台湾出身で中国人の実力者と言う知名度を活かして中国やアジアへの知名度を上げるためだったとされます。しかしながらダイエー本体は破綻、現在のソフトバンクに引継がれ「ソフトバンク・ホークス」となっています。

さて、現在の「ロッテ・マリーンズ」元々は「毎日オリオンズ」と「大映ユニオンズ」が合併したチームです。「マスコミと映画会社」が元のオーナーと言う訳です。その後、ロッテがオーナーとなり。「ロッテ・オリオンズ」から現在に引継がれている訳です。

変わらないのが阪神・巨人・中日・広島と言ったところでしょうか？

大きな流れは、映画－鉄道・流通（販売）－IT産業と時代の流れに翻弄されてきた事が垣間見れますね。

余談ですが、かつて幻の「佐川急便タイガース」構想もあったそうです。「虎」と「飛脚」。この組み合わせは見たくありませんネ。

今シーズン、プロ野球はどんなドラマで楽しませてくれるのでしょうか。

※球団名は、ご当地地名は省いて書きました。

平成24年3月27日

おまけ 韓国人から見た中国人の4つの欠点とは？－米華字メディアより

2012年3月20日、米華字サイトの多維ニュースは、中国在住の韓国人学生・金宰賢（キム・ジェヒョン）氏の評論記事「私の目から見た中国人の欠点」を掲載した。同氏は中国のさらなる発展を阻む欠点は、団結力、サービス意識、細やかさ、創造力の“4つの欠如”だと主張した。

世界第2位の経済大国になった中国に、真の強国になる準備はできているか。中国で暮らしていると、その欠点がよく見えてくる。

●第一に団結力のなさだ。韓国人に比べ、中国人は団結の精神に乏しい。サッカーの試合が良い例だ。中国は韓国にかなわないが、団結意識が低いからではないか。転職率が高く、富豪が移民したがるのは、団結と相互扶助の精神が欠けているからだろう。

●第二にサービス意識の欠如だ。中国語には「サービス」という単語がないのではとすら思ってしまう。銀行窓口では延々と並ばされ、レストランへ行けば従業員は客が呼んでも見向きもしない。

●第三に細やかさが足りない。中国製品の質は確かに上がったが、「最後の1cm」が足りないのだ。世界で日本製品が好まれるのはなぜか。最後の1%が細やかに計算され、消費者のニーズをつかんでいるからだ。

●最後に創造力の不足だ。中国では知的財産権がないがしろにされ、海賊版や偽物が横行している。自分の力で何かを生み出しても、すぐに他人に盗まれてしまう。相応の報酬や評価が得られないのでは、創造する意志も力も育たないだろう。（翻訳・編集/AA）

平成24年4月3日

知っ得言葉 8

・デトックス

元々英語の detoxification（デトックスフィケーション）が由来で、「デ」＝排除。「トクシク」＝毒。と言う組み合わせ単語で元来「解毒」の意味である。しかし近年、身体の中に溜まった老廃物や有害物質などの毒素を排出して、身体を健康向上を目指す面でも採り上げられている。これらは民間療法や代替治療としても紹介されたりするが、医学的な裏付けは無いとされる。

平成24年4月10日

●身売りのシナリオ二つ ～日本は中国に取り込まれるのか？～やびにらみの邪推～

国会での消費税をめぐる学級崩壊。ウンザリですね。ずーっと前から言い続けている「特別会計」には誰も手を付けず、使うお金や人件費を減らそうともしない。企業であれば経済の原則にさらされ、業績が悪ければ出を抑え、必要なお金の使い道を絞る。好調のときは還元し、悪かった時の労をねぎらう、、、
税込と言う吸い上げるお金に関しては無頓着で、納税者が納税するのが当たり前とでも思っているんでしょうね。我々を「打ち出の小槌」と思っているようです。大手電器メーカーですら何度も大幅な人員削減をしていると言うのに、、、

出費を減らさず、お金足りないからお金ちょーだいと言う構図。いくら税を吸い上げても出を押さえ、特別会計を開放しないとナンボでも赤字国債を発行し続けねばならないのです。

今回の消費税増税案は、日本の国債の命運を握っているのですが、これが通過すればこれまで日本国内中心に販売されていた国債は世界へ売りに出す目論見があります。国内の金融機関はもう国債満腹で、こんな危ない「爆弾」はこれ以上買えない、、、がホンネでしょう。ましてや欧州の危険な国債も抱えているのだから。これ以上、日本の金融機関を頼れないのです。

片や、消費税増税反対派が存在。民主党の獅子身中の虫として扱いに窮しているのは周知の通りです。その中心の小沢氏は親中国を過去から演出しており、消費税増税が無くなれば日本の国債はキケンな債権とみなされ、そのリスクをチャンスと捉える中国をアテにしているフシが有ります。中国にコビを売り、日本国債が暴落の兆候が現れたら中国は「救いの手」を差し伸べるのでしょうか。ここに「日本買い」が成立し、戦争することなく日本は中国の支配下に入ります。地団太を踏むのはまず「アメリカ」そして周辺諸国。当然、日本国民です。政治屋やクサレ官僚たちは「中国に守ってもらえるので良かったねえ」とノー天気。でも、過去の転換点にきちっと出来なかった事を悔いても仕方がない、、、日本人が選挙で連綿と選んできた無能政治屋と、それを良いことに彼らをあやつったクサレ官僚達を生んだのです。で、小沢は、、、日本を中国の手中に収めさせた功労者として表面上は奉られるのでしょうかね。

さて消費税法案が通過したら、国債はしばらくは「延命」で、外国に販売する事でさらに債権額が膨らむ。で、行く着くところは「日本国債崩壊」となる。そこで、中国の資本登場！結局、中国の支配下に。国債の延命で得るのは「今一番中枢に居る官僚達」なのです。彼らは「今、何とごまかして延命すれば自分たちには実害が無い」と考えているのです。小沢を中心とした議員も。クサレ官僚達も結局は自分だけ良ければ良いと考えている「売国奴」と言われてもしゃ～ないねえ。とまあこんな邪推をしてしまいましたア (^ ^ ;

平成 24 年 4 月 10 日

知っ得言葉 9

脱法ハーブ（通称“合法ハーブ”）

大麻などの違法麻薬の代わりに、法律で指定されていない幻覚成分を有したり、染み込みしたりした植物の総称。違法薬物成分の化学式を一部変えて法の網を逃れたものを使用し幻覚効果を得ることができる。これらの“普及”で大麻に関する犯罪の検挙者が減ったとされる。

法に触れていないとは言え立派な麻薬。麻薬中毒の深みにはまる入り口でもあり、死にも至りかねない。

平成 24 年 4 月 17 日

おまけ

万部おねり（まんぶ）～平野郷 大念仏寺～

丸一金属発祥の地、大阪市内の旧平野郷地区には国産念仏門の最初の宗派で、日本最初の念仏道場といわれる大念仏寺が有ります。12世紀頃に鳥羽上皇の命で道場が出来、18世紀頃に現在の体をなしたとされ、融通念佛宗の総本山になっています。

このお寺では5月1日～5日に「万部（まんぶ）おねり」と言われる行事が催されるのですが当日は、本殿の前に渡り廊下が設置され、さまざまな菩薩（25菩薩）に扮した行列などが練り歩くのを見ることができます。きらびやかな菩薩装束の行列は一見の価値が有るでしょう。（昼2時～3時半頃）

これらは、死して極楽浄土に往く事を体現したいとの願望を現わしてものとされます。

また、18世紀半ば過ぎに、ある上人（偉いお坊さん）がお経を一万部読み終えた事をきっかけとして民衆の幸せを願う「万部会（まんぶえ）」が始まったのです。

「練り歩く」極楽浄土の再現の行事と、一万部のお経を読破し民衆の息災を願う「万部会」の二つが一緒になり「万部おねり」となったそうです。またこの歴史有る行事は平野郷固有の祭事でもあります。

平成24年4月17日



「万部おねり」風景 菩薩練り歩き

知っ得言葉 10 スーパーセル

上空の狭い範囲で何らかの原因で急激な気圧の変化に伴い激しい気圧の変化を起こしている空間を指す。無秩序な激しい気流のため、予測不能な気象の激変を伴う。

“スーパーセル”は日本語の直訳で“超小部屋”。意味を汲めば“とんでもない事が起こっている空間”とも言えるだろうか？最近よく耳にするこの言葉ですが竜巻大国アメリカでは既によく使われている。異常気象の賜物だろうか？

平成24年5月29日

きまぐれ通信 80

●ニンニクよもやま話

滋養強壮によいとされるニンニク。日本では「大蒜」と書かれ「ユリ」や「ネギ」の仲間です。仏教用語では「忍辱」と書き、字の如く「耐え忍ぶ」が語源とされます。精が付きすぎて煩惱に耐えなければならない、、、と言う事でしょうか？（笑）

さて数千年前のエジプトのピラミッドの建設にも労働者達に毎日与え、働かせたと言う記録が残っているニンニク。世界的にもそして日本でも古書に記録が残っており、その歴史の深さと世界的に効能が認められている事がうかがえるのです。

ところで、具体的なニンニクの効能って何なのでしょう？

古来より腫瘍、胃腸の不調、咳止め、食欲増進、解毒などの効能が認められていましたが、さらに抗菌作用、コレステロール値降下とそれに伴う動脈硬化予防、さらに免疫力の増強なども確認されています。近年話題の「抗酸化作用」もあるようです。

それら優れた効能の反面、強烈な抗菌作用から食べ過ぎて身体に必要な菌まで殺してしまい、体調を崩すことも有ります。また、生で食べすぎても貧血を起こしたり胃腸がおかしくなったりします。

私も生ニンニクを食べ過ぎて「胃けいれん」を起こして大変な目にあったものです (´o`)

これらは「アリシン」といわれる成分の作用によるものが多く、体調を整えてくれると言う意味で「滋養強壮」によいとされるものの両刃の剣なのでしょうね。

私はニンニクは大好きで球根一玉を丸々食べてしまう事もあります。大前提は翌日、誰とも会わない事。ですが朝起きると自分でも分かるくらい体内から染み出て全身ニンニク臭です。朝起きたら出すものを出して、風呂に入り、舌を磨き、また昼からシャワーなどで身体を洗う、、、こんな事しかやってませんね。人なんか会えっこありません。

ちまたに色んなにおい消しが有りますが、細胞に行き渡ったにおいの元（アリシン）は時間が経たねば抜けてくれまへん～

とは言うものの、におい消しの代表格が「牛乳」ホットミルクが更に有効とか、、、牛乳と共にナッツ類を食べるとより効果が高まるのだとか、、、また、リンゴを食べても効果的なのだとか。そして最近は低臭ニンニクなんて言うのも出回ってますね。

ちなみにニンニクの年間消費量は日本 **221 グラム** に対し韓国は **6.7 キロ** とすごい量です。

これから暑くなる季節、体調管理にニンニクも採り入れては？

平成 24 年 5 月 29 日

知っ得言葉 11

・受動喫煙（間接喫煙）

喫煙者が吐き出す煙（主流煙）と、煙草から出る煙（副流煙）は有害物質を含み、喫煙時などにただよった煙で周囲の人たちに間接的ながら不本意にその煙を吸わせてしまう事。当然ながら煙は有害物質を含み、健康に悪影響をもたらす。この事は 30 年余り前に日本人による論文で警鐘が鳴らされた。

平成 24 年 6 月 6 日

きまぐれ通信 その 81

●不本意な肺ガン

喫煙者でもなく、じん肺になる環境にいなかったにも関わらず「肺ガン」を発症する例が増えてきた。非喫煙者の方で「セキが止まらない」と検査を受けると、よもやの「肺ガン宣告」を受けるのだ。喫煙者の方々はその覚悟で吸っているのだから仕方がないが、今まで吸ったことも無い人は納得が行かないだろう。（中には「オレは大丈夫！」とタカをくくっている喫煙者もいますが、、、）

その患者さんの生活環境を調べてみると身近な人たちの中に喫煙者が居るのです。近年、分煙やホテル族、換気扇族、風下族など非喫煙者に配慮して煙草を吸う風潮となっていますが、そこに落とし穴が、、、煙草の煙は目に見えるものだけにあらず。煙が無くっても有害物質が口から吐き出されているのです。

例えば換気扇のそばで吸い終わって家族の場所へと戻ります。もう口から煙は出ていなくなっても、喫煙後 2 分以上は煙を伴わない有害物質を吐き出し続けているのです。離れて吸っていても喫煙後すぐに戻ってきたら「意味の無い分煙」となる訳です。かくて家族や周りの人たちは見えざる「受動喫煙」となる訳です。

また、「残留受動喫煙」といって、建物の壁やカーテン、そして髪の毛や衣服などに付着した喫煙による有害物質が空気中に再拡散され誰も煙草を吸っていない状況であっても有害物質にさらされ吸っているのです。

私も 1 人住まいの時代、部屋で煙草を吸っていたのですが冬になると窓に結露が出来、垂れてくるしずくが茶色だったのを思い出します。今思えばオゾマシイ光景です。

と言う訳で、女性の肺ガンでは実に 8 割が非喫煙者、男性は 3 割が非喫煙者だそうです。取引先の事務員さんも間接喫煙で肺ガンと診断され療養中なのです。

この 6 月 5 日の新聞に「間接喫煙、要は無配慮な他人による煙害で毎年 6 8 0 0 人が亡くなっているとい

う厚労省の発表があった。」と載っていた事を教えてくれる人がありました。

喫煙は自分が病気になる可能性を自覚して吸う分には良いのですが、出来るなら無関係な人に危害を与えないように心掛けたいものです。私は今吸っていないのですが過去の喫煙の蓄積で自分の病のリスクは減らないでしょう。しかし少なくとも他人へ与えるタバコのリスクは無くしたと思っています。

余談ですが、私は 20 歳前から喫煙、その間何度もやめたり吸ったり、そして先ほど述べたように長い間全く吸ってないのです。しかし「やめた」とは言わないのです。なぜなら「やめた」と言って、もし吸ったら友人たちにマタマタ「がしんたれ（根性無し=河内弁）」と言われるのでとりあえず「吸ってない」と、、我ながらズルイなア〜（苦笑）；

タバコ大好きな知り合いは例え 1 箱 2000 円になっても止めないと言う御仁もおられますね
タバコは嗜好品ながら色んなリスクが大きく、これから値段を始め、環境などもっと肩身が狭くなるのでしようね。

なかなか止めることが出来ないタバコ、、これは「日本政府公認の麻薬」でもあるといえますね。タバコをやめるにしてもかなりの労力を要するのに、ちまたの「麻薬」なんぞ一度染まったら、やめれっこ無いと思うのです。

平成 24 年 6 月 6 日

知っ得言葉 12

・デマンド (DEMAND)

元々「需要や要求、そして請求」と言った意味です。それが欲するモノやサービスに対し金品を支払う需給ビジネスモデルの意味合いを持つようになったのです。

例えば「ビデオ オン・デマンド」などは観たい番組が観たいときに（需要）直ぐに番組が観られる（供給）サービスでそれに対し対価（契約料）を支払うと言った具合に、、

また事業所の電力料金のデマンドについても、「めっちゃ電気がいるネン」と言う要求（需要）に対しそれらを集計した最大電力量に備えるべく（供給）それら最高値（契約料の基）が地域で必要な発電量とされる。

平成 24 年 6 月 14 日

きまぐれ通信 その 82

●静香のちゃんの満足？ ～消費税増税論争に埋もれたやぶにらみの政情～

「郵政民営化法案」・・・2005 年時の小泉総理の不退転の決意の下、クサレ官僚や一部政治屋のサイフ状態であった郵貯を始め「国営」の総合金融・配送システムに大ナタを振るった訳だ。この時に郵政民営化に反対した議員達を抵抗勢力とし、参議院で否決されるや衆議院を解散。郵政民営化に反対の議員には党籍を剥奪。その選挙区には対抗馬を立てて半ば賭けと言っていい位の猛進をやったのけたのだった。その結果、衆議院で可決されたものが参議院で否決されても再び衆議院で可決できる 2 / 3 以上の議席を公明党と共に獲った訳だ。

その際大きく話題となった議員の 1 人が亀井静香である。抵抗勢力として党籍剥奪された。選挙戦ではホリエモンこと「堀江貴文」を対抗馬（刺客）として立てられたのだ。時の人、当時のライブドアの社長である。結果、亀井氏は当選したものの衆議院では小泉首相のもくろみ通り、どんな法案でも可決するに十分な議席を確保。そして「郵政民営化法案」は可決に至った。この事は亀井氏のプライドをいたく傷つけたのは想像に難くない。なにせ相当ウルサイ「静香」ちゃんなのだから。

ご存知の通り彼は数名で「国民新党」旗揚げし、民主党圧勝が政権を獲った時に政権に入った。たかが数名の党であるが苦節 7 年、郵政民営化改正法案がこの 4 月に通過したのだった。改正の目玉は「完全民営化」の阻止。ここに亀井氏のかたき討ちが終わったわけだ。

その証拠に、この法案通過後の亀井氏の行動は党首らしからぬもので、民主党の消費税増税には同意でき

ぬと政権離脱を表明。結局党が分裂状態となり党首の座を追われ、当然党籍も剥奪された。しかし氏はこのことに対しあまり不満や意見を述べていないのだ。

結局「国民新党」を私物化し、さまざまな手練手管を駆使し民主党に「民営化改正法案」を通させたのだ。民主党も「たかが1人」に振り回され情けないもんです。

かたき討ちを終えた亀井氏は「大願成就」を果たし満足。これからは黄昏てゆくのだろうか？

余談だが、ズルイ悪党が1人。自民党の古賀誠氏だ。小泉政権当事、郵政民営化には反対だったが決してそれを表に出さず自民党に留まる得策を選んだのだ。小泉氏にはそれが判っていても獅子身中の虫。彼を始め中途半端な抵抗勢力の残留にさまざまな腐心をした事だろう。

平成24年6月14日・

知っ得言葉 13

・オーガニック

化学肥料を使わず有機肥料で土壌の特性を活かして栽培する農法を指す。また、土壌だけでなく「遺伝子組み換え種」や「放射線」それに「化学合成された添加物」も使用してはならないなどの規定があるようです。自然の循環システムを利用し、自然への負荷を減らすのも目的のひとつとされます。本来の「自然に優しく」と言う意味合いから、結局「人に優しい食べ物」の意味へとすり替わってしまった部分もあるようです。

平成24年6月26日

気まぐれ通信 その83

●とある仏具屋さんにて、、、

私のお袋は毎日仏壇にろうそくと線香をあげています。しかし、お袋は80歳も半ばなので火を使うのは危険、と電池式のろうそくを買いに行こうと思っていたのです。近所に知り合いの仏壇屋さんがあり、なにかと助かっていたのですが去年後継者の娘さんが亡くなり、この4月で店を畳まれたのでした。

はたと困り、そう言えば近所の霊園あたりに何軒か仏具のお店が有ったな?と思い出したのでした。あるお店に寄り「電池式のろうそくってありますか?」と尋ねたら、あまり判っておられないようで私が陳列にあったのを見つけました。「これです、これです」と2本分けてもらおうとしたのですが、ご主人「ナンボやったかな?調べとくさかいに今日はお金はエエワ」と一銭も受け取らずだったのです。

後日電話を掛けると、おかみさんが出て「やっぱし値段わからへんネン。千円にしとくワ」との返事。

「いくら何でも2本で千円は安すぎる」と思い、お菓子の手土産を買って支払いに行ったのです。そこでおかみさん「旦那が千円で言うたさかい千円やけど、ホンマはもっとするんやろね」とさすがしっかり者。その片鱗を見せたのです。

そこですかさず「スンマセン、お口に合うかどうか、、、」とお菓子を差し出すと女将さんの表情は一変。「あらっ、エエのン?」とニコニコ顔に。「気は心、、、」昭和の古き良き時代を思い起こさせる小さな出来事デシタ。

平成24年6月26日

おまけ

加工肉「ピンクスライム」の衝撃

この3月にアメリカで火の点いた問題がある。そぎ落としたクズ牛肉から赤身を細かくして分離する。それに殺菌剤“水酸化アンモニウム”を添加した加工肉の問題だ。これは「ピンクスライム」と呼ばれ、挽き肉に混ぜて水増ししコストを安く上げるのだ。これはペットフードの肉よりも粗悪なものとする。

多くの食材にはアンモニア化合物が自然に含まれており、“水酸化アンモニウム”の使用量は天然の成分以下なので食品衛生上の表示義務は無い、、、と言う訳でこの加工品は違法とか健康被害が出る事は無いのだ。

要するに粗悪だが「安全な食品」という訳だ。

しかし「消費者が知らないうちに牛の挽き肉にクズ肉が加工され水増しされていた。何の表示も無く選ぶことすら出来ない。」と言う事で先ず問題になった。

「安全で合法的な加工食品」なのになぜ大問題になったのだろうか？業界や当局が安全性を謳っても益々ヒートアップしている。

このきっかけは「食品革命」と言うアメリカの番組で、クズ肉を洗濯機にぶち込みアンモニア水を混ぜて挽き肉と混ぜると言う演出をしたのだ。そして「アメリカの牛挽き肉の70%はこうして作られる。学校の給食にだって使われているのだ」とぶちあげたのだった。

その番組はユーチューブで繰返し見られ、ツイッターで全米を駆け巡った事で「ピンクスライム問題」が沸騰し、いまだに収まっていないのだ。そうしている内に普通ではまず食べない部位までも使用されている事が判明、更にヒートアップ。かつて日本で起こったミートホープ事件の混ぜ物どころではないのだ。

その結果、外食産業はもとよりスーパーは混ぜ挽き肉の扱いを中止。当然の事ながらピンクスライムの関連会社の多くは経営危機、もしくは倒産に至っている。

では、日本ではどうなのだろうか？いまだに全くといって良いほどピンクスライム報道は無い。基本的には問題が無いので経産省は「余計な混乱を招く報道はするな」と指示しているのかも知れない。

日本では“水酸化アンモニウム”などのアンモニア化合物の使用は認められておらず、これがそのままハンバーグなどの加工品に混ぜられて輸入されている事も考えにくい。但し「アンモニア」は認められており例えば「高野豆腐」には膨らせる目的で使用された“実績”があるとされる。

日本においては同じ成分が含まれていても「自然に含まれているのはOKだが、添加はNG」という意識がどこかに有る。一方で私たちは「合法的な食品添加物」を年間、何と10Kgも食べているのだ。万一誤解を招くような報道でがあると、このような問題が思わぬところで火を噴く可能性をはらんでいると言えよう。

皆さんの「安全・合法的な加工食品」にどのような認識を持っておられるのだろうか？突然降ってわいたような情報の急変にしっかりした意見を持たねば振り回されてしまう事になりかねない。かつての毒入りギョーザ事件もそうだった。

ちなみに「スライム」とはベトベトの粘着物質の事。想像しただけでも気色悪いものだ。

平成24年6月26日

気まぐれ通信 その84

●タバコと生レバ

この7月1日から「生レバー」を食するのが法律で禁止になった。事の発端は昨年に焼肉チェーン店「えびす」でのユッケ食中毒事件にさかのぼるのは周知の如く。

そもそも「生もの」や「背の青い魚」は、幼児はもちろんお年寄り、妊婦さんには食べさせてはいけないと言われてたものです。「何が起こるかわからない生もの」については警戒をなさいと言う先人の知恵なのです。

チェーン店の店員はマニュアル化されたもとの調理が多くコストダウンを図っているわけですが、入荷した状態がマチマチの生ものをマニュアルだけで調理するのは間違いなのです。経験を積み五感を働かせ、はたまた第六感を動因して食材の良し悪しを判断する力量が必要なわけです。

ユッケの調理方法云々に始まり、生レバーには強毒性の細菌O157が存在する可能性が有るので禁止となった。禁止する事自体は、百歩譲って仕方がないでしょう。でも、好きな人は焼き物用レバーを生で食べたりして却ってひどい中毒がおこりやしないか？と案じてしまうのです。

そもそもかつて生レバを食べて中毒となった人がいたのか？O157で発症した人は居なかったはず。今回、

禁止前の駆け込みで中毒は起こったがこれは一時の品薄で本来生では食べてはいけないものまで提供されたのではないかと考えられるわけです。しかも O157 では無かったのです。

さて、年々喫煙人口が減っているタバコですが、タバコが原因で起こる病気の医療支出が年間 7 兆円。タバコの税収が 2 兆円。その差額 5 兆円が治療費に消えているわけです。

タバコが原因のガンを除いた肺疾患の患者数は 530 万人、そのうち 10 万人が街中でも時々見かける酸素ボンベを手放せない人たちなのです。そして、肺ガン。毎年 6 万 7 千人が無くなり、そのうち 7 千人弱が間接喫煙で理不尽な死に至っているわけです。また、タバコによる火事のリスクも生レバー以上でしょう。

人が亡くなる可能性が高いタバコ。そして、タバコの箱には健康に対する警告まで載っています。要するに「病気の可能性があるけど自己責任で喫ってくださいよ」「未成年はダメですよ」と言っている訳です。こういう規制や警告をタバコにするので有れば、生レバーも一切禁止にせず「自己責任で食べる」対象にすればよいのに、、、

治療費がかさむけど、税収が有るタバコ。タバコを禁止にすれば毎年 2 兆円の減収でしばらくは、正味 7 兆円の医療支出負担がのしかかる、、、しかもヤミタバコが出回る。かくて、国民の健康と税収・財政負担を天秤にかけた結果、タバコには増税論議が有っても禁止には至らないわけだ。かくて国家公認の麻薬が合法的に売られ続けるわけです。アメリカでは、タバコによる健康被害で大々的に裁判が起こっていると言うのに、、、

片や生レバ。禁止にしても税収や医療費に関わる事は問題外。それより食中毒が起こって厚労省の責任を追及されるのなら、いっそ禁止にすれば国民からの突き上げは無い、、、要するに自分達の都合です。

国民の健康の見地から言えば、極めてちぐはぐな姿勢と言えないでしょうか？

ちなみに、昨年あたりから出まわっている「生レバー風コンニャク」は中々イケまっせ。本物と思い込んだ人もいました。

平成 24 年 7 月 11 日

知っ得ことば 14

プロボノ

その人が持つ高い能力や専門知識を社会のために無償で提供し貢献する事。高度なスキルを持つ人たちが参加する新しいボランティアの形態。

ラテン語の「Pro Bono Publico (プロボノパブリコ) = 公共善のために」が語源

平成 24 年 7 月 24 日

気まぐれ通信 その 85

● 私たちにも発電所が作れる！？

昨年の震災に伴う原発事故をきっかけとして「節電」が叫ばれているのは周知の通りです。丸一金属では平成 10 年頃から「指 1 本でできるコストダウン」として 10 数年前から不要な照明や空調は OFF にしようと言う事で省電力に取り組み始めた。当初は「面倒くさい」とか「ケチくさい事を言いよる」とかさまたまな抵抗が有ったのも今は懐かしい。省電力はコストダウンだけでなく省エネであり結果的に環境に負荷を微力ながら減らしてくれるのだ。

平成 16 年 10 月に主に電力を沢山消費する機器の洗い出しと改善をした結果、その後の一年で電力消費量が年間 19% 削減出来たのでした。今年は蛍光灯の LED 化を含め、水の利用などさまざまな事を検討、検証しているさなかでこの 4 月~6 月の平均実績は時間補正して 14.9% (単純比較で 32%) の省電力となったのです。ここで毎年言い続け、社内のルールとして実践しているのが各空調装置の時間差 ON なのです。モーターのあるものはスイッチを ON して回転を始めるのですが一番電力を消費するのがこの時。そのため一斉に ON にすると一気に電力消費量が上がり電力供給の負担となるのです。それにその一気に上がった

た電力消費量（デマンド値）が電気量気の根拠になってしまうわけです。

と言う訳で、丸一金属では昔からぶれずに継続的に省エネを推進し、社員・パートさん達の理解と協力のもと着実に進めて来たと信じているのです。本当に必要か？替わりになるものはないか？人に必要以上の負担を掛けないか？などを観点に「つらくない省エネ」を目指したいものです。

さて、昨今の「脅し」「詭弁的」な情報により、いつの間にか原発再稼働となっているのは周知の如し。最初は「計画停電」をちらつかせ、「停電になったら皆さん大変ですよ〜」と圧力をかける。原発が再稼働して「節電目標は15%だったのを10%にしてもいいですよ〜原発様再稼働のお陰ですよ〜」って懐柔してゆく。原発継続に向け非常にコソクな展開の手法だと感じてしまうのです。

原発は今必要でしょうが、将来的には代替エネルギーにとって替われればと考えています。それもその技術が日本の産業の将来を支えるものになってもらいたいものです。

しかし一方、隣国の中国では今後、原発を200基に増やすと計画しており、むしろこの事の方が怖いと感じます。中国のシステム管理技術は高速鉄道で明るみになったようにお粗末です。また、内陸地震も頻発しており一基でも福島のような致命的事故が起これば放射能は黄砂のように偏西風に乗り、たちまち日本に降り注ぐ可能性を秘めている訳です。

話を戻しましょう。先ほど書いた丸一金属での今後1年で予想される省電力量は5万4千Kwと予想されます。原発一基の年間発電量は6割稼働率と仮定してざっと53億Kw。丸一の省電力では一基の発電量の0.01%程度と焼け石に水のように思われますが、仮に日本全国の白熱電球をすべてLED電球に取り替えると原発約13基分の発電量が不要になるのです。国全体で省エネを進めれば見えない発電所を作る事に相当するとも言えるでしょう。

平成24年7月24日

気まぐれ通信 その86

●「津波」よもやま話

3. 11の東日本大震災から500日が過ぎたとニュースで出ていました。月日の経つのは早いものです。地震は「地面の揺れによる直接被害」。揺れによって引き起こされる山崩れ、火災。それと備えの不備による人災。さらに海辺あれば「津波」と、さまざまな災いを引き起こしてくれました。

それまで日本で起こる津波はせいぜい数十センチ。人々は「たがが津波」とタカをくくっていたきらいがあります。この震災の8ヶ月前に「水は固くて柔らかい!？」と言うタイトルの文面の中で

「大地震などによる津波は海岸からですが破壊力も凄まじく、ジワリと50cmの増水だけで1平米あたり200Kgの圧力が増えるのだとか。怒涛のように押し寄せる津波となると、その破壊力は推して知るべしです。」と書いた事がありました。まさに懸念が現実となったわけです。この当時は殆どの方が津波の現実を過少評価していたものです。

さて「津波」とはどういう意味なんでしょうか？「津」は辞書によると「水のうるおす所。浅瀬の舟着き場。渡し場。」を意味するそうで、転じて「船の出入りする港」を表すのです。と言う訳で「津波」とは「港に押し寄せる大きな波」の意味になりますね。確かに津波は陸に近づく程に高くなり、港に達すると大きなうねりとなって荒れ狂っていたのは記憶に新しいところです。

また別に「強い波」が転じて「津波」となった説もあるようです。

ところで「津波」は外国の報道で「TSUNAMI」と表現されていたのに気付かれた方も多いただろう。英語などにもそのような表現があるのになぜなのでしょう？

英語では大きな波の事を「TIDAL WAVE（タイダル ウェーブ）」などと表現しますが、これらは単なる大きな波。サーフィンなんかでもこのような表現を使っていたと思います。英語では「津波」に相当する言葉がないようです。

実はこの「津波」という言葉を紹介したのは日本に帰化した外国人作家 小泉八雲（ラフカディオ ハーン）なのです。彼の和歌山の港町を舞台に描いた「生き神」という小説の中で“津波に襲われた村人が高台に逃れて助かった”と言うくだりがあります。そこで使われた“TSUNAMI”が世界の共通語たる津波の原点となったわけです。

今世界はさまざまな地球内部の活動期に入っています。それが以前「生きている地球」で書きました地球温暖化による氷原の溶解がもたらす地殻のバランスの崩れによる可能性もあります。また、逆に太陽は沈静期に入りこれまた地球に注ぐ太陽エネルギーが減少する、、、

これから現代人経験した事の無い事が起こるのでしょうか。この猛暑、、とつくに起こってましたか？

平成24年7月31日

知っ得ことば 15 LCC (Low Cost Carrier)

一般的に「格安航空会社」などと言われていますが、コストの掛からない経営で低運賃 (Low Cost) の航空会社 (Carrier) の略称です。アメリカの航空規制緩和 (自由化) がきっかけで登場しました。昨今、日本でも話題になっていますがギリギリのコスト経営がゆえに自前の修理・保全施設はなく、また代替機などは無いため利用者に不便を強いてしまう事も発生している。一般に安すぎるものにはあらゆるリスクの可能性を念頭に入れねばなりません。

平成24年8月7日

気まぐれ通信 その 87

● 「金 (gold) 」よもやま話

ロンドンオリンピックも終盤にさしかかろうとしています。多くの有力選手たちが目指す頂点はやはり「金メダル」ですね。ずっしりと重い金メダルですが、金の重さは同じ量の水の約1.9倍強。例えば2リットルのペットボトルの量だと約40Kg近くにもなるわけです。これは重いっ！

6000年程前にエジプトで発見された金ですが以来、権力・威厳・富などの象徴として、また美術工芸品、アクセサリとして人々を魅了してきました。

以前書きましたように金鉱石1トンから採れる金はたったの5グラム。発見以来産出された金の総量はオリンピックのプール (50mプール) 約3杯分 (14~15万トン) 程しか無いのだそうです。このあと産出される量は現在判明しているだけでプール1杯分 (この先20年分) 程度トカ、、、

その希少価値ゆえにお金になったりお金と同等の扱いをされたりしたわけです。その流通の過程で出てくるのが「ニセモノ」や「混ぜ物入り」。それらがホンモノであるかを確認するのに「試金石」が考えられたのです。その石に金を少しこすり付けてその色あいからホンモノかどうかを判断するのです。いまや「価値・力量などを判定する材料となる物事」の意味で日常に根付いています。

極めて産出量が少ないだけでなく人を引き付ける妖しい輝きを持った金ですが“物理的”には「金色」と言う色は存在しないのだトカ。昔学校で学んだ光の三原色の実験でプリズムを使って光の色の解析をした事がありましたね。目に見えるものから、そうでないものまで光が分かれて解析される訳ですが、その分かれた光の中には決して「金」や「銀」は無いのです。従って物理的に“色としての金・銀は存在しない”と言うわけです。チョットややこしいでしたかね、、

さて金は「金箔」に象徴されるように極限まで伸ばすことが出来る特性 (展延性) を持っています。その箔は腰も柔らかいので自由度が高いことから装飾に良く使われます。ちなみに1グラムの金 (水1滴ほどの量) は線に伸ばすと約3000m、金箔にすると1平方メートルまで広がる驚異の金属でもあるのです。

また物理的に極めて安定しているので決してサビない。要するに装飾品としても輝きを失わないわけです。エジプトで発掘された黄金の棺などは納棺時そのままのまばゆい輝きで発掘現場の人々の感動は計り知れない事だったでしょう。

そして熱以外で唯一金を溶かす物質は濃塩酸と濃硫酸の混合液「王水」と言われる強烈な液体だけなのです。これは化学的にはほぼすべての金属やモノを溶かしてしまう最強の液体といわれます。それを使ってようやく溶ける、、それだけ優れた物理的安定性があるって言う事です。

また電氣的性質も優れており、これら突出した特性も相まってハイテク製品にはは欠かせない金属と言う訳なんですね。

金はその希少価値ゆえに身近になりにくいと感じる一方、私たちの日常生活のハイテク製品に欠かせないという意味からも「真の貴金属」と言えるかも知れませんね。

平成24年8月7日

気まぐれ通信 その88

●配慮と遠慮の違いが判っているのか？ そして落としどころは？

わたしは普段から「遠慮と配慮は違う」と言っている。「遠慮」は後々プラスに成る事は無い（少ない）が、「配慮“は先々生きて来る」。これは変わらず持っている信念の一つでもあるのだ。

「遠慮」は相手に付け上がる芽を出させ、行く行くは増長してコントロールが効かなくなる（收拾できなくなる）可能性をはらむ。時として相手の顔色をうかがい、その場しのぎで波風を立てず、いい子ちゃんでおさまろうとする時にやってしまいがちな手法だ。問題先送りの逃げである。

「配慮」は先々の事を予測し、相手の立場を考慮しているのをキチンとアピールした上で収める矛は収め、逆に、強く出なければならぬ時はキチンと対処する。もちろん信念と裏づけのある論陣を張り、周囲の共感と賛同を得るような準備は必要。その時多少の波風が立っても落としどころをキチンと押さえ、波風の方角がずれて論点が移動してもブレずに対処できる準備と力量も備えねばならない。必要なあつれき（摩擦）は良薬にも成り得るのだ。要するにwin-win（お互いに利益もしくは納得をもたらす結果）を目指すわけだ。

逆にこちらが「配慮」したつもりでも、相手と常識の格差があったり、はたまた偏執狂的な相手であればそれは相手に通用しないだろう。はてさてどうすれば良いのでしょうかね？その答えは周りを賛同者で固め状況を打破するエネルギーを蓄えて対処する以外にないのだ。この場合、必ずしもwin-winとは行かないが、、

中曽根内閣(1980年代半ば)から始まった日本の土下座外交、、近隣諸国に必要以上の配慮をしつつ政権が変わってアメリカとの関係はおかしくなった。脇が甘くなった日本を狡猾な近隣諸国は放っておかない。まさに弱肉強食なのだ。日本政府には他国の力を借りる手段や力量もないくせにプライドだけが何故か高い、、外交能力は崩壊しているのは周辺国の動向をみれば明らかだ。ようするに「あわわ〜」のウロこき状態で取りあえず波風を立てないのが得策、、と思い込んでいるフシもある。当然の事ながら彼らの配慮と思い込んでいる遠慮のオンパレードは、先々大きな悲劇を招くのは明白だ。このような事は日常生活においても見られる事なのだ。どこかで過去のしがらみを断ち切る英断も必要だ。

しかし焦って拙速な対応もよけいな泥縄に陥る。要は力量を備えたものが携わらねばならない。色んな事が後手後手の泥縄状態と混乱に陥るのは現政権政党でいやと言うほど見せ付けられている。

平成24年8月21日

おまけ

●熱中症**予防**～どこを冷やすと予防に有効なのか？

熱中症は、体温が高くなりそれに伴い脳の温度が上がり、身体をコントロールすべき小脳の機能が低下する事により発症します。水分、ミネラルの摂取はモチロンですが、脳の温度を上げないようにする工夫も必要な訳です。熱が出ると額を冷やしますがこれは身体の防衛機能が働いて健康な状況では逆に体温を上げようとします。これは額が外気の状態を感知するセンサーの働きをするからです。サルは毛皮に覆われていま

すが、額や顔はむき出しなのはその為です。寒い環境になれば額が寒さを感じ、体温を上げようとするシクミがあるわけです。と言うわけで、血流の多い首を冷やすと脳に熱くない血液が送られ熱中症の予防につながるわけです。

平成24年8月21日

知っ得ことば 16

・リストラ (リストラクチャリング restructuring)

日本においては「人員削減」や「事業縮小」などマイナスのイメージだが本来、組織の業績の好不調に関わらず「(先につながる)組織の再構築」を意味する。必ずしも「クビ切り」を伴うものではない。継続的な組織や人員の変革は企業の活性化に欠かせないわけで、前向きな意味合いも有るのだ。

平成24年8月28日

気まぐれ通信 その 89

●シャープの選択 II ~選択と国の無策の狭間で~

私が「シャープの選択~千里から天理へ」を書いたのが4年前。大阪本社の会社が1970年に大阪の千里開催の万博に出展せずその資金で天理に研究所を持ち、そこでつちかった総合デジタル技術がシャープ発展の原動力となったと言う内容だった。

液晶関連技術で一世を風靡し、利益や従業員の年間所得が当時の松下電器を抜いたことも話題となった。当時、液晶技術はハイテク製品の最先端の一つだった。しかし出来上がった部品はハイテクであるが製造技術さえ手にすれば技能が不要。従って必要な部品を寄せ集めればソコソコの「家電」が出来てしまう。2年半前に「自転車化する!?ハイテク製品」と言うのを書いたが、まさに肝となる部品は装置さえあれば安く作れ、集められ、安い人件費で組み立てる事が出来るようになった訳だ。政府の地デジ化終了に伴う特需で多くのテレビは新品に、エコ家電補助金も終了。と言う訳で通常オリンピックが始まる前にはテレビ需要が2割は伸びるとされるが今回のオリンピックではそれも無い。それまで散々買い替えを後押ししたのだから当然と言えば当然、

韓国のウォン安、継続的超円高の中、需要の減退と海外メーカーの台頭で液晶テレビの価格は一気に下落。液晶技術を柱としてきたシャープの屋台骨を揺るがしたのだ。

シャープはこれから先の液晶技術が優位で有り続けると確信し数年前に大阪の堺に莫大な投資をした。固有の技術と付加価値有るモノの生産を日本国内にとどめ、技術的優位を保とうと大型投資へと「打って出た」わけだ。しかし予想を上回る製造業の環境の世界的変化はその優位を許さなかったのだ。

過去において日本製品は確かに細かな技術は素晴らしいのだが、それらとユーザーの使い勝手とのギャップは大きかった。ユーザーにとって不要な機能が「付加価値」だと信じ込み値段を高く設定していた訳で、やがて「日本で設計・製造されたのだから間違いない」と言う押し付け神話は海外市場から見透かされた。例えばテレビ、、韓国製の輸出テレビの中にははスイッチを入れるとまず画面にその国の宗教の法典が出てくる。敬虔な国民の心を捉えた訳だ。そして操作が楽。ミニバイクは道路が整備されていない国では道路のデコボコ、ぬかるみに小さい車輪がすぐわれて使い物にならないなど、、日本企業は輸出先の状況を充分汲まずに「押し付け輸出」をしてきた経緯がある。ウォン安の恩恵を存分に活かした韓国の企業には「輸出先の事情に叶った製品と価格」を実現し、全く新しいコンセプトの製品であっても海外と棲み分け生産してきちんと「適切な付加価値」を付けている企業だって存在する。

今や海外で大いに飛躍しつつある企業はかつて日本が辿った途を行っている。それは日本人がかつて海外市場を開拓した時の執念と情熱、エネルギーそしてその市場から学ぼうとする貪欲な姿勢である。

シャープの現状は日本の施策にも一因があろう。日本のモノ作りは無くしてはならないが、モノ作りをないがしろにしてきたのは日本の国家中枢なのだ。さかのぼれば、日本は製造業の度重なるリストラで優秀な

頭脳が技術と共に海外に流出した事が現状の遠因となったのは言うまでもない。この時代にも国は金融機関重視で、製造業は二の次三の次だった。

「日本で付加価値有る製品作りを続ける」と言うシャープの選択は間違っていないかと思う。ただ日本の製造業の企業姿勢・努力に対し国家が真剣に答えていないのだ。国の無為無策のもと、製造業が縮小しつつあり日本企業と日本の衰退は確実に加速する。欧州の先進国でも同じくこのような世界の環境と情勢の中、技術をしっかり保って邁進している企業も多い現実がある。要はやりようなのだ。

平成24年8月28日

おまけ

●同胞を食う中国人達 ～ある特集番組から～

中国から日本への旅行者が増えた。今やソコソコの観光地や繁華街へ行くと中国語を耳にする。もちろんツアーがほとんど。その中には格安ツアーも存在し、日本に5日程滞在して5万円前後。航空運賃、新幹線、宿泊を考えると確かに安い、、、平均的な中国の月収3万円を考えると彼らにとっては決して安くないが「あこがれのニッポン」である。「あこがれ」の中には日本製品への安心・安全神話もある。格安ツアーにはそれらを逆手に取って「悪質」免税店に連れて行き、高額な健康食品、健康増進のネックレスなどを売りつける、、、旅行者が国へ帰り、買わされたものが不当に高かったり効き目が無いのに気づき「日本にだまされた！！」と憤るわけだ。背伸びして旅行し、さらに無理して高額で買ったものがパチモンであれば当然だ。

現実に目を向けるとツアーガイドはほとんどが中国人。そしてその9割以上が無資格・不法滞在なのだ。さらに「悪質免税店」は中国人の経営、、、彼らが結託して「同胞」をだましているわけだ。つまり格安旅行をエサにしても充分元がとれるほど同胞からボッタクリをする構造だ。

そしてその構造に気付かぬ被害者（旅行者）には「日本はトンデモない国だ」と思い込ませてしまう。日本へのあこがれと信頼を逆手にとり中国人同士の安心感までもエサにする。これまでも諸外国の観光地でのダマシは繰り返されてきたが、同胞を食い物にしているこのケースが本当であれば、かつてない悪質さだ、、、

平成24年8月28日